

「子ども・子育て」に
関するアンケート調査報告書
【小学校児童用】

(案)

平成26年2月
伊 賀 市

目次

第1章 調査の概要	2
第2章 調査結果の分析	
1. 子どもの育ちをめぐる環境について	6
2. 就労状況について	
1) 母親の就労状況について	11
2) 父親の就労状況について	19
3. 子育てと仕事との両立について	26
4. 放課後の過ごし方について	27
5. 病気の際の対応について	38
6. 宿泊を伴う一時預かり等の利用について	42
7. 子育て全般について	49
第3章 質問と回答（単純集計結果）	
付録 調査票	

第1章 調査の概要

1) 調査の目的

伊賀市では、「子ども・子育て支援法」に基づく新たな子ども・子育て支援の制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を平成27年度から実施する予定です。本調査において、伊賀市にお住まいのお子さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を調査し、計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「利用人数などの見込み」を算出するために実施しました。

2) 調査の方法

- (1) 調査地域……市内全域
- (2) 調査対象……市内在住の小学生（1～3年生）の保護者 2,171人
- (3) 抽出方法……全数を対象
- (4) 調査方法……学校を通じて直接配布・回収
- (5) 調査期間……平成25年10月～11月

3) 回収結果

- (1) 調査票送付数 2,171人
- (2) 回収数 1,905人
- (3) 回収率 87.7%

4) 集計にあたって

- (1) 集計は小数第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答率を合計しても100%ちょうどにならず、1%の範囲で増減することがある。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数nとして算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を越えることがある。
- (3) n (Number of Cases の略) は比率算出の基数であり、100%が何人の回答者数に相当するかを示す。
- (4) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化している。

5) 回答者の基本属性

図 1 - 1 居住地区 (単数回答 n=1,905)

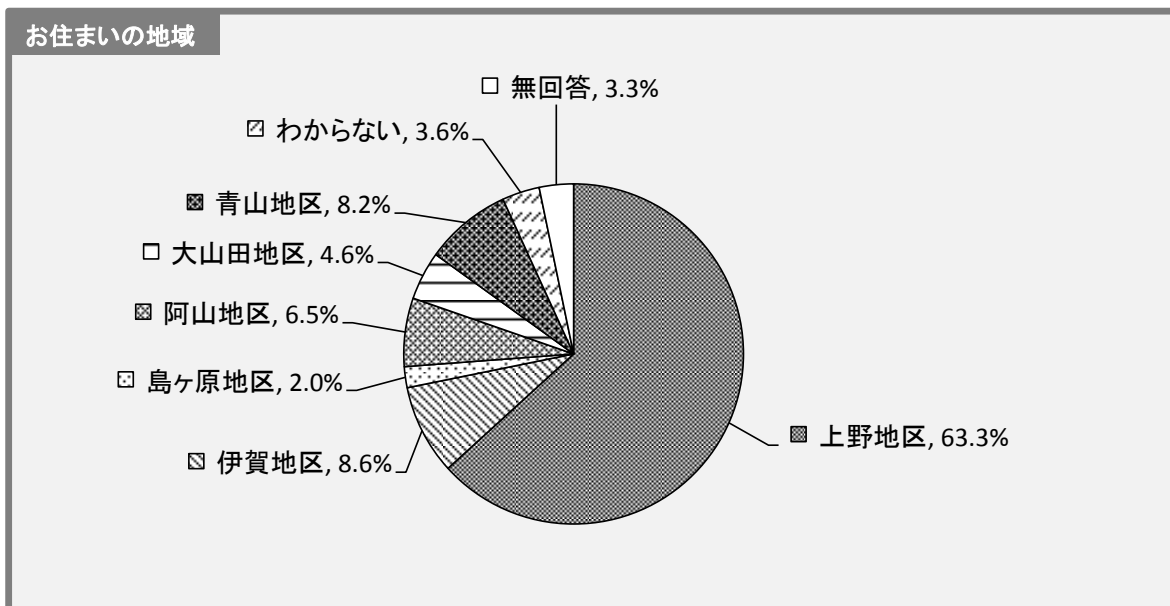


図 1 - 2 学年 (n=1,905)

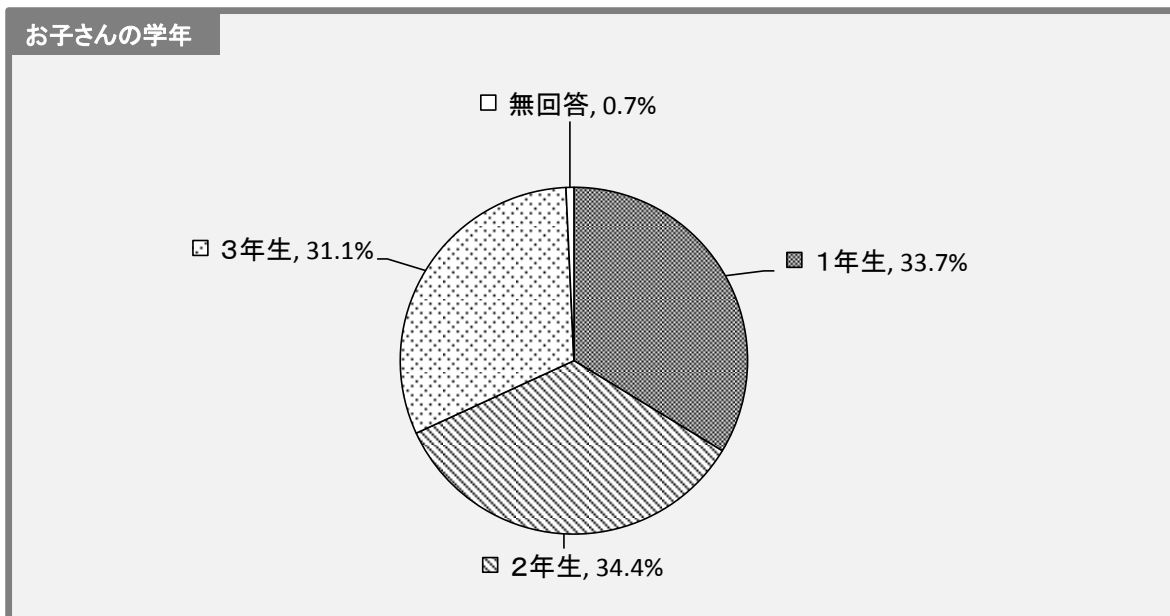


図 1 - 3 兄弟数 (n=1, 905)

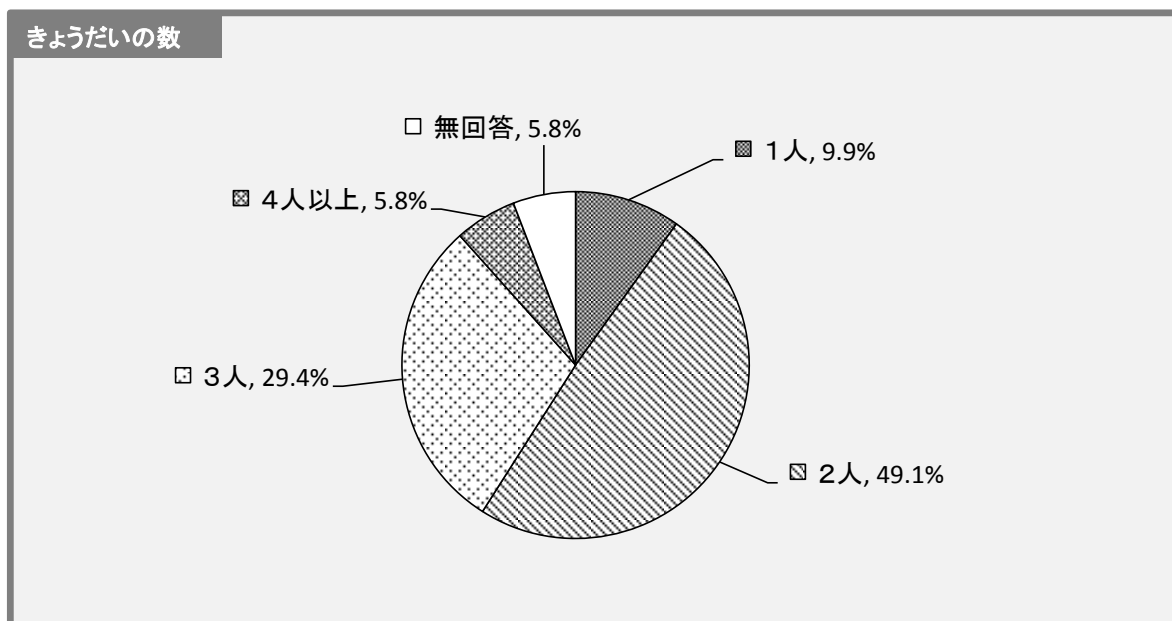


図 1 - 4 回答者のお子さんとの関係 (単数回答 n=1, 905)

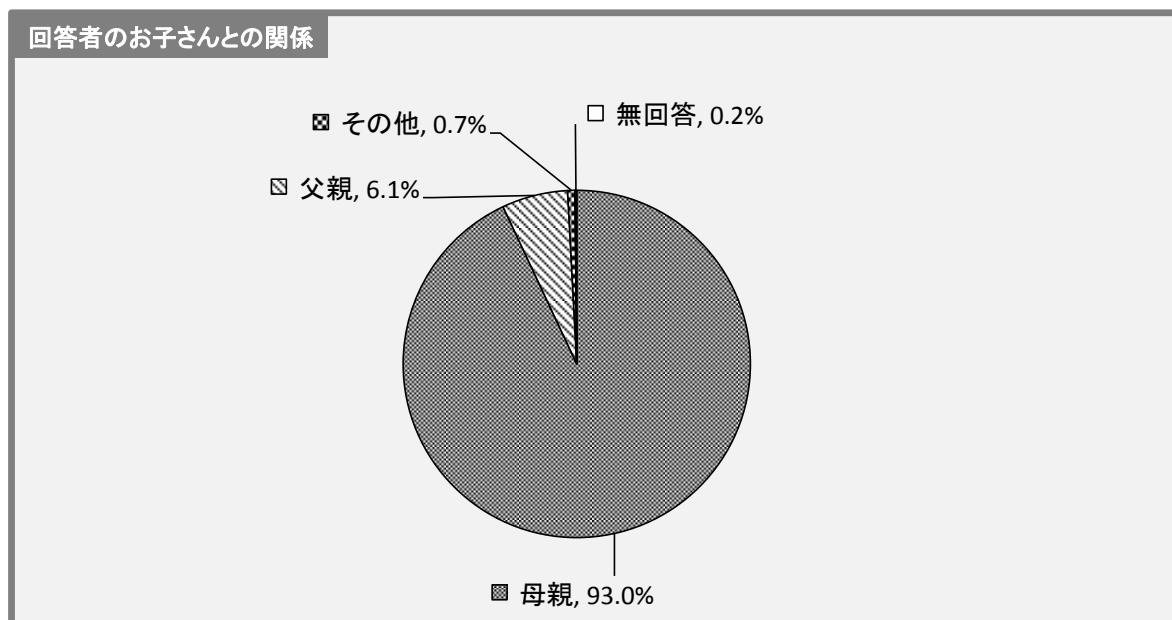


図 1 - 5 回答者の配偶関係 (単数回答 n=1,905)

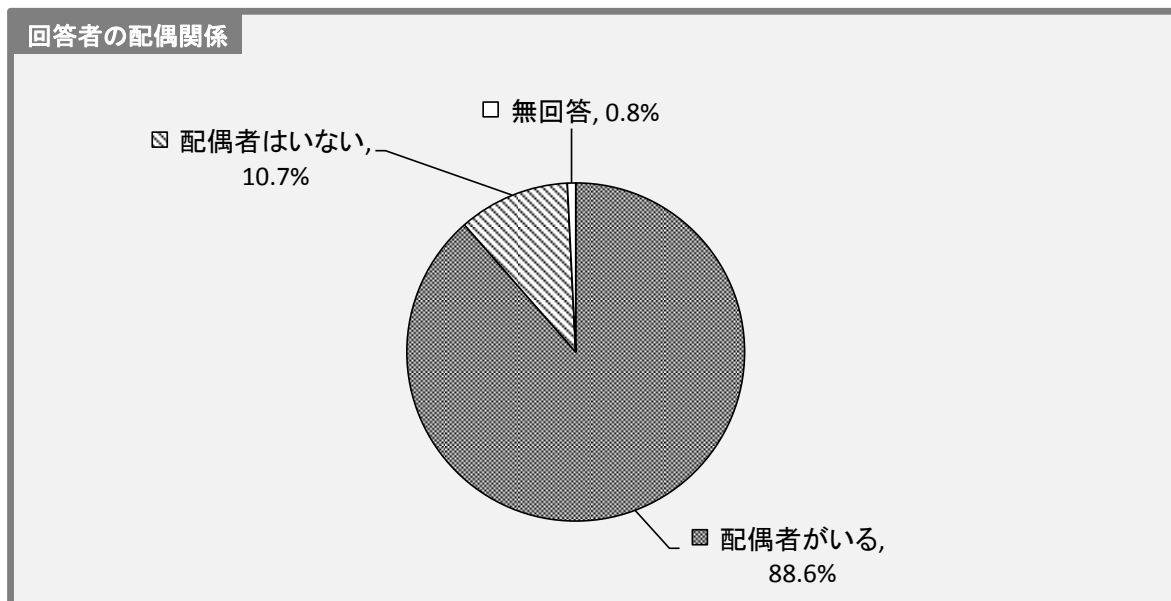
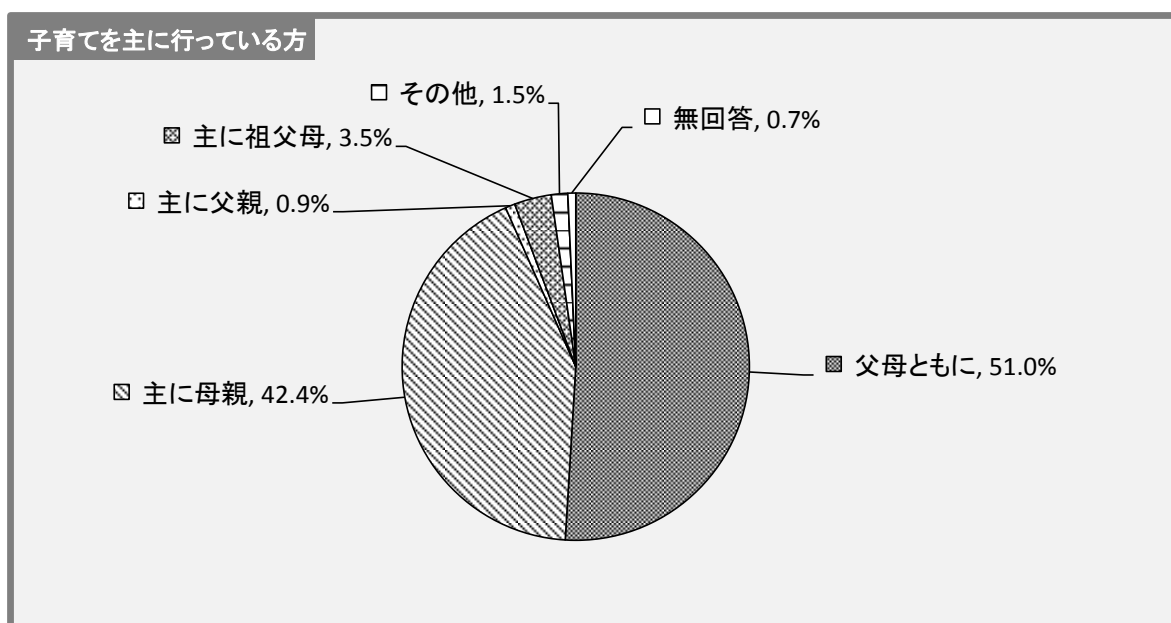


図 1 - 6 主に子育てを行っている方 (単数回答 n=1,905)



第2章 調査結果の分析

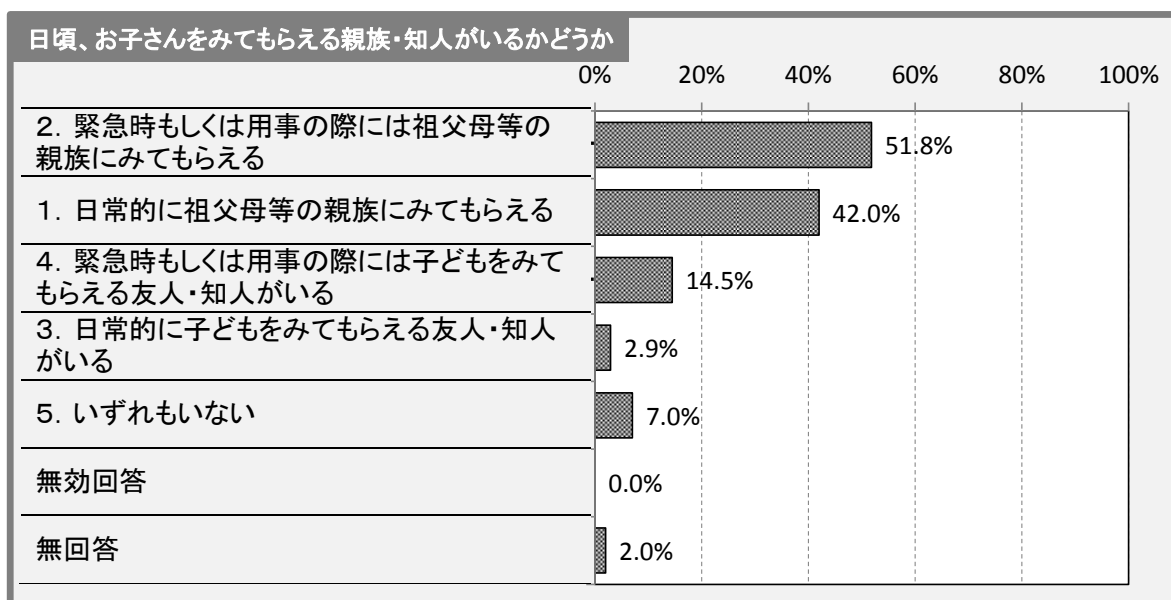
1. 子どもの育ちをめぐる環境について

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人がいるかどうかについては、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が50%を超えて最も多くなっています。また、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」も42.0%あり、緊急時にも日常的にも祖父母等の親族に子どもをみてもらえる方が多いと言えます。また、緊急時にも日常的にも友人・知人に子どもをみてもらえる方は比較的少なくなっています。

一方、「いずれもない」方は7.0%あります。

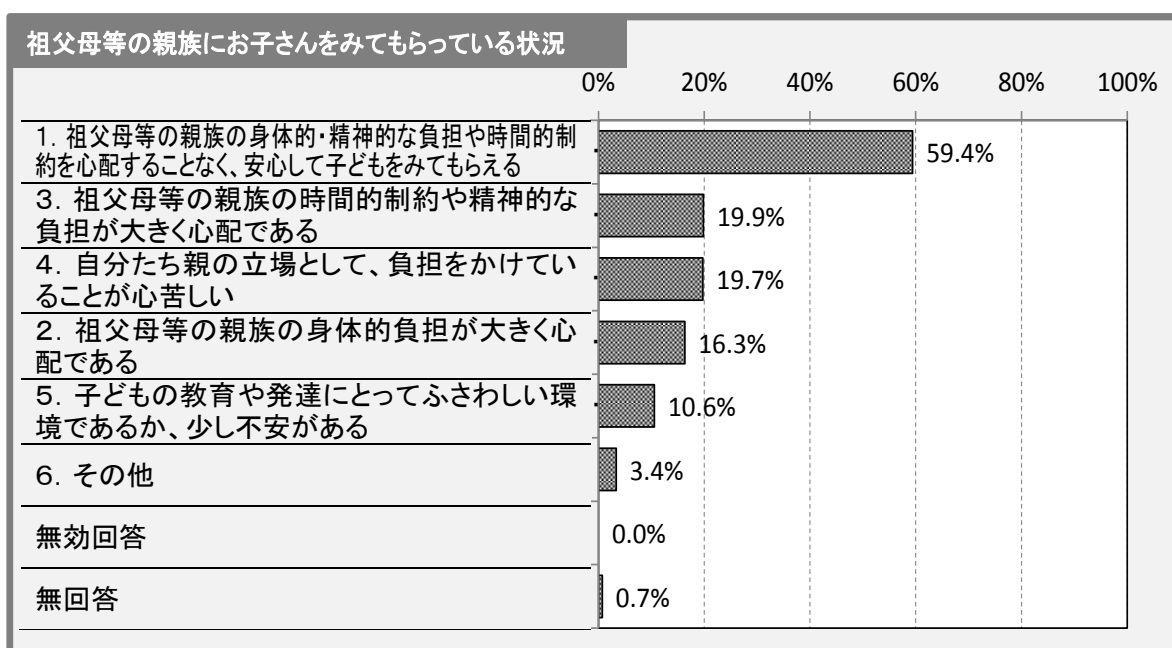
図2-1 お子さんをみてもらえる親族・知人がいるかどうか（複数回答・いくつでも n=1,905）



問7-① 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(問7で「1」または「2」に○をつけた方)

お子さんを親族にみてもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が59.4%で最も多くなっています。一方、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(19.9%)、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(19.7%)、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」(16.3%)など、負担感を感じている人はそれぞれ20%弱に上っています。

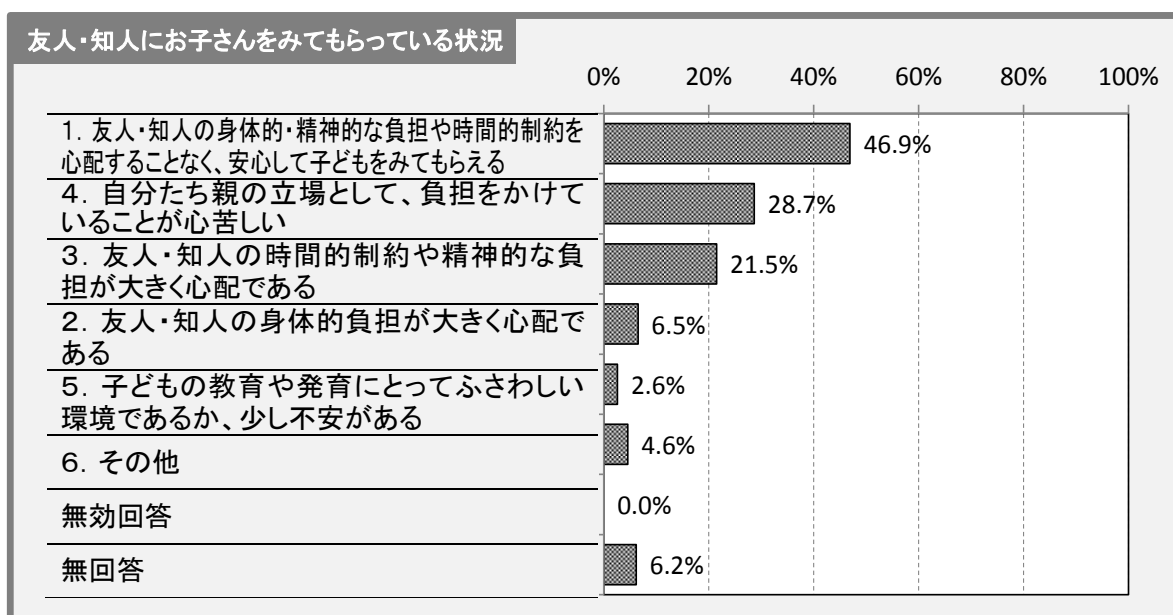
図2-2 お子さんを親族にみてもらっている状況 (複数回答・いくつでも n=1,641)



問7-② 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(問8で「3」または「4」に○をつけた方)

お子さんを友人・知人にみてもらっている状況については、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」と回答した方が 46.9%で最も多くなっています。一方、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(28.7%)、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(21.5%)など、負担をかけていることに対する心苦しさを心配を感じている方も、それぞれ20~30%に上っています。

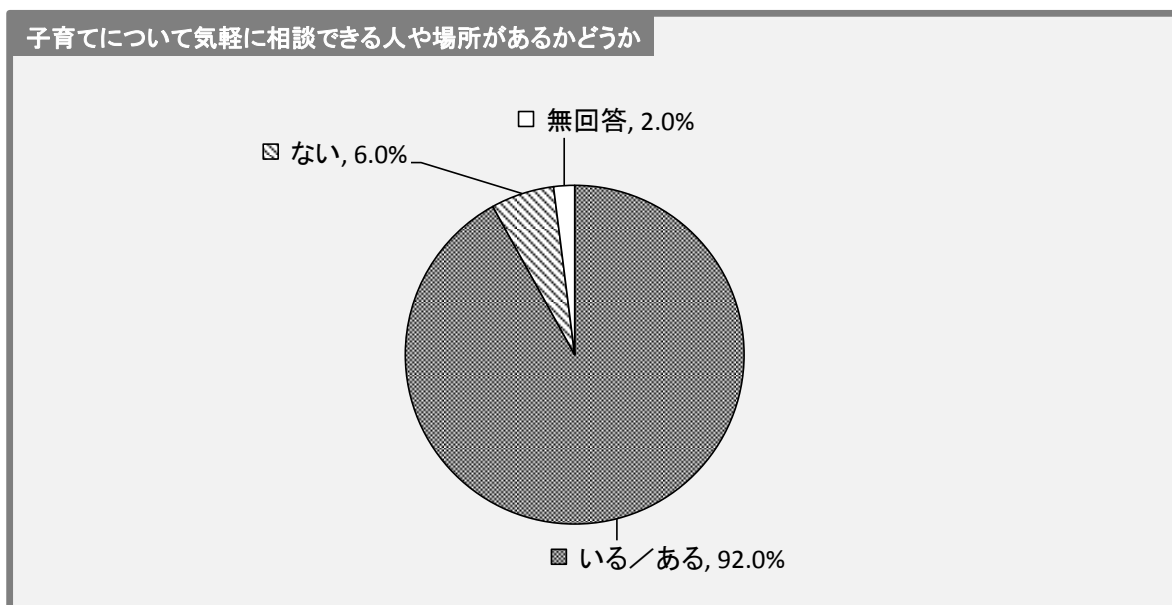
図2-3 お子さんを友人・知人にみてもらっている状況 (複数回答・いくつでも n=307)



問8 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

子育てについて相談できる人、場所があるかどうかについては、「いる／ある」と回答した方が90%を超えており、「ない」と回答した方は6.0%となっています。

図2-4 子育てについて相談できる人、場所があるかどうか（単数回答 n=1,905）

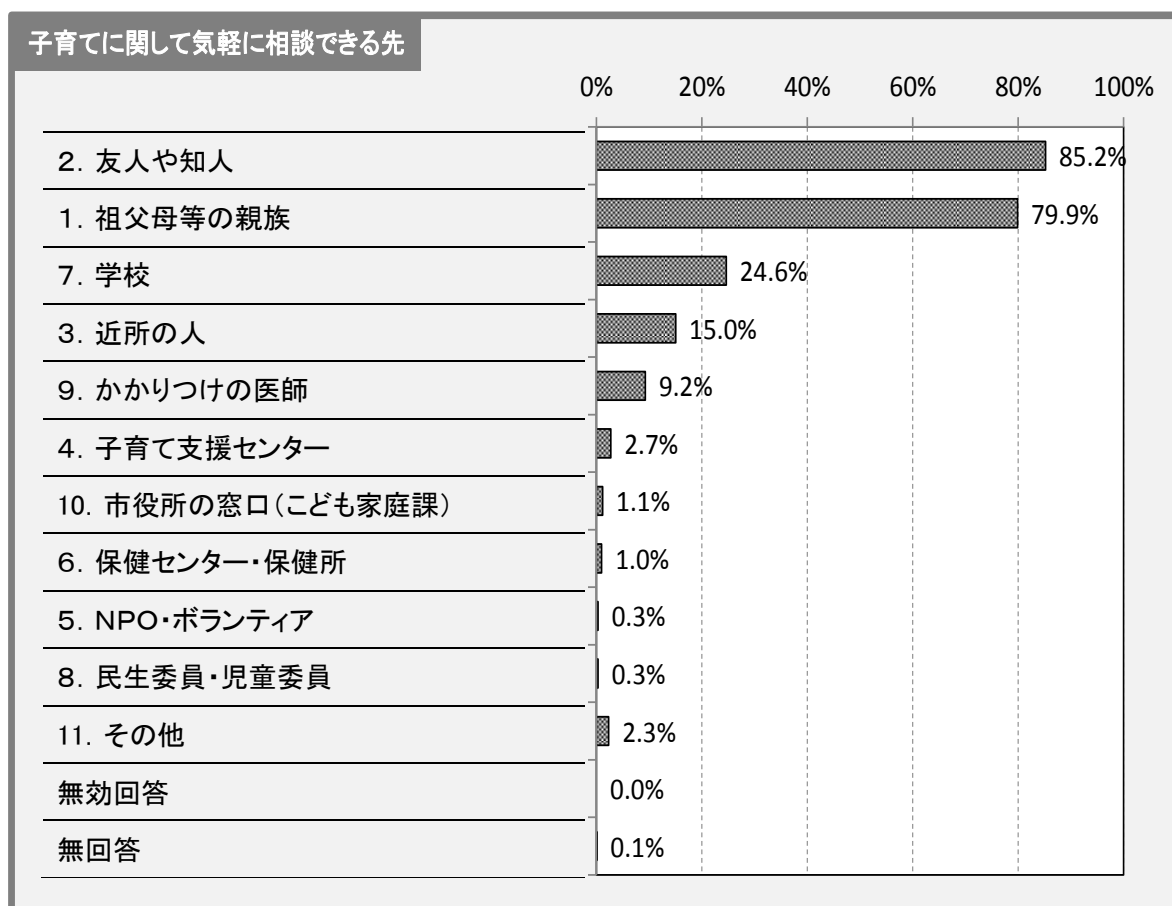


問8-① お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（問10で「1. いる／ある」に○をつけた方）

子育てに関する相談先は、「友人や知人」（85.2%）と「祖父母等の親族」（79.9%）が突出して多くなっています。次いで、「学校」が24.6%が続いています。

一方、「子育て支援センター」、「保健センター・保健所」、「市役所の窓口（こども家庭課）」、「民生委員・児童委員」等は少なくなっています。

図2-5 子育てに関する相談先（複数回答・いくつでも n=1,752）



2. 就労状況について

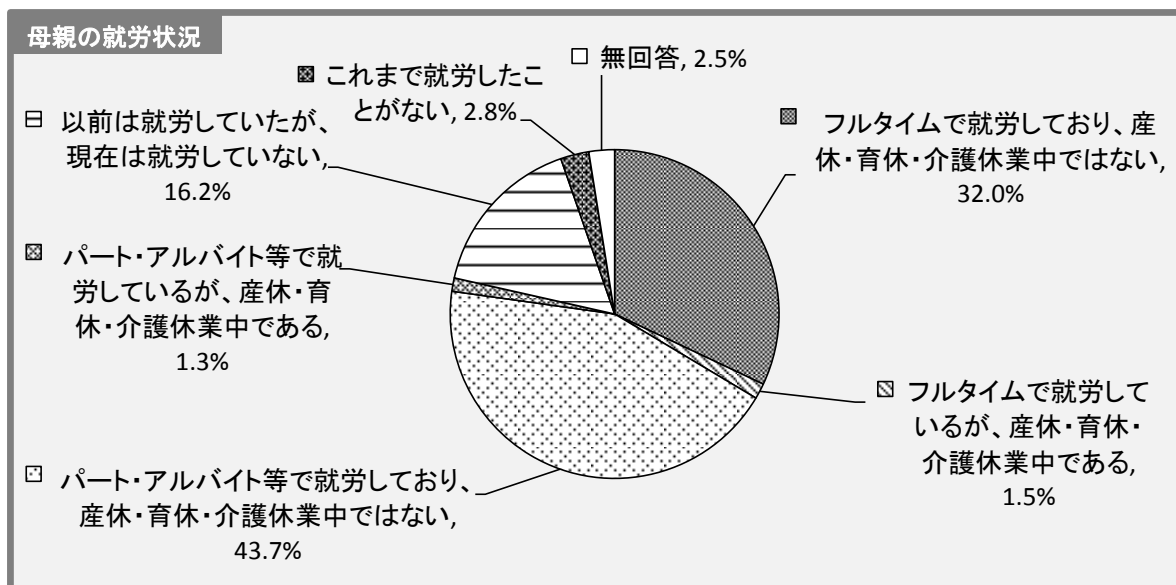
1) 母親の就労状況について

問9 宛名のお子さんの母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。

母親の現在の就労状況は、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が43.7%で最も多く、次いで、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（32.0%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（16.2%）と続いています。

また、現在「フルタイムで就労しているが、産休、育休・介護休業中である」は1.5%となっています。

図2-6 母親の就労状況（単数回答 n=1,905）

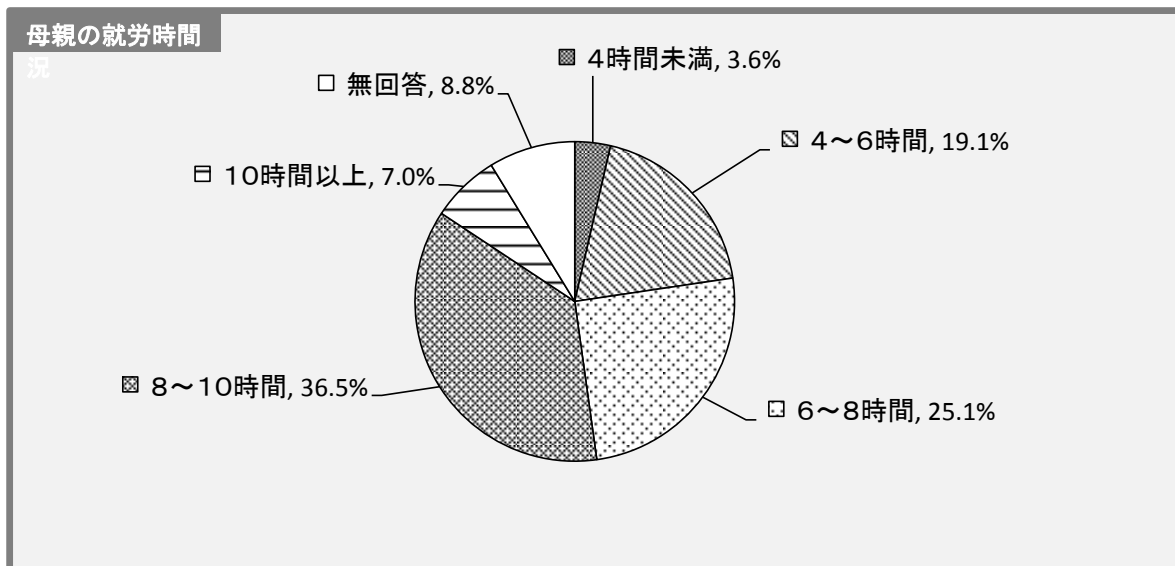
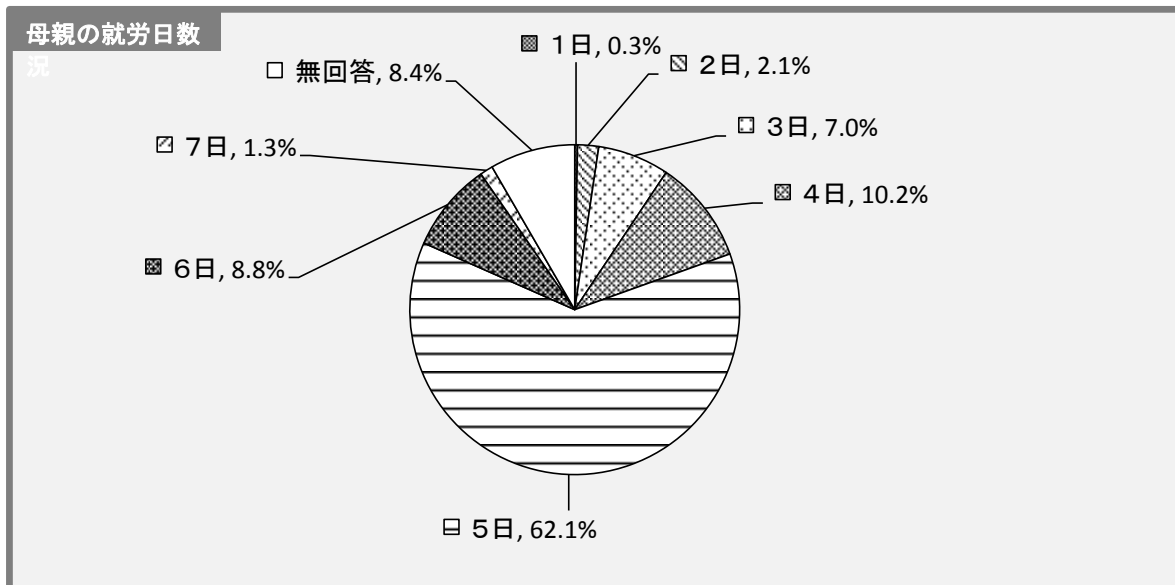


問 10—① 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。（問9で「1」～「4」に○をつけた方）

母親の週当たりの就労日数は、「5日」が62.1%を占め最も多くなっています。

1日当たりの就労時間は、「8～10時間」が36.5%を占め最も多くなっています。

図 2-7 母親の就労日数、就労時間（単数回答 n=1,496）

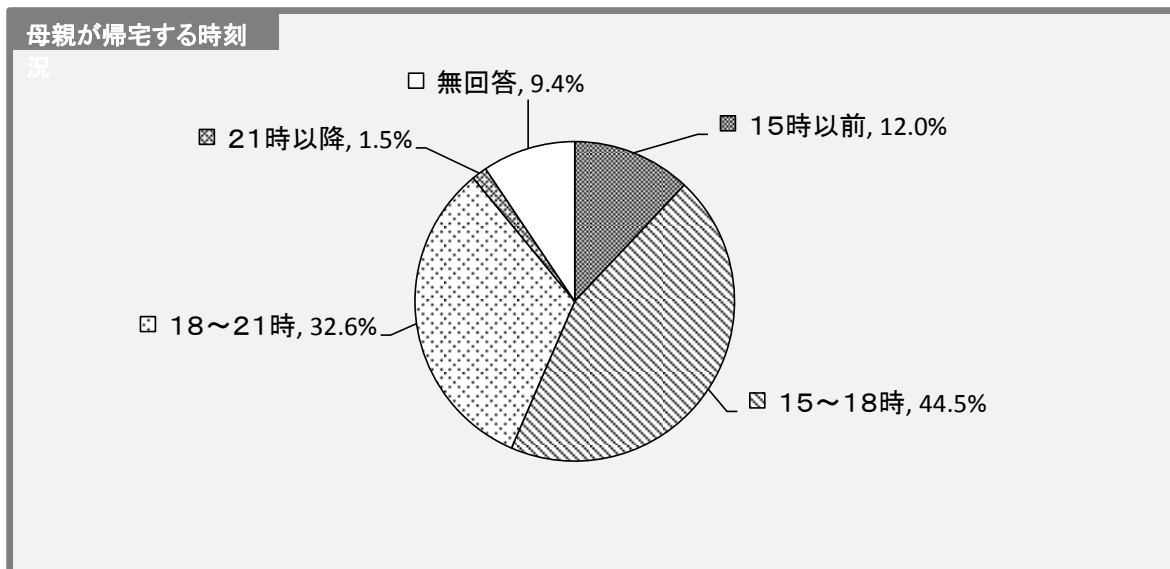
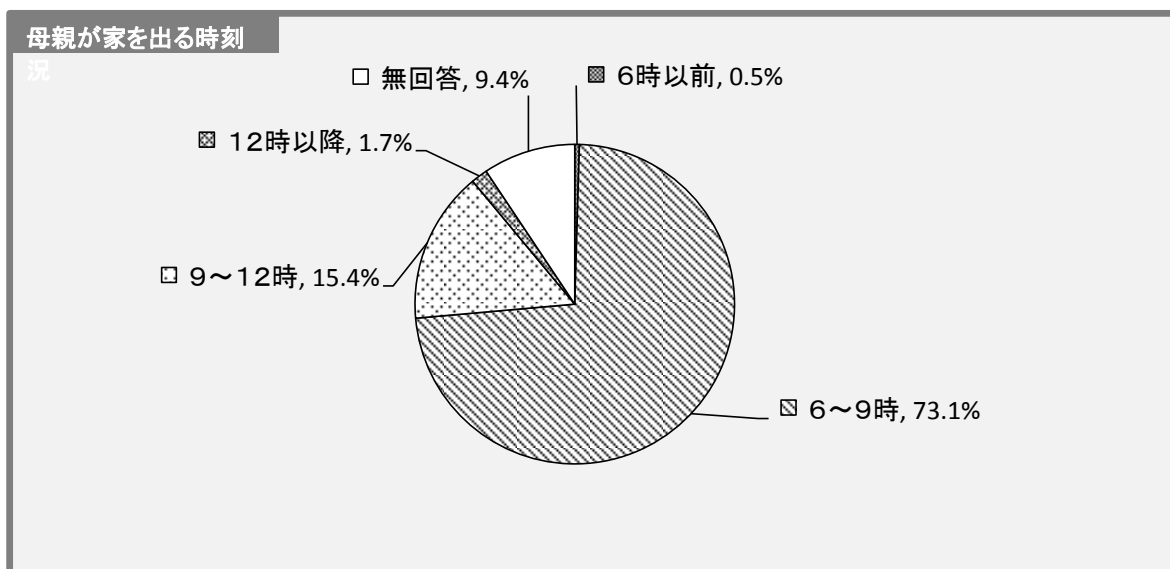


問 10-② 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(問9で「1」～「4」に○をつけた方)

母親の家を出る時刻は、「6～9時」が約70%を占めています。

帰宅時間については、「15～18時」が44.5%で最も多く、次いで、「18～21時」が32.6%で続いています。

図 2-8 母親の家を出る時刻、帰宅時刻 (単数回答 n=1,496)

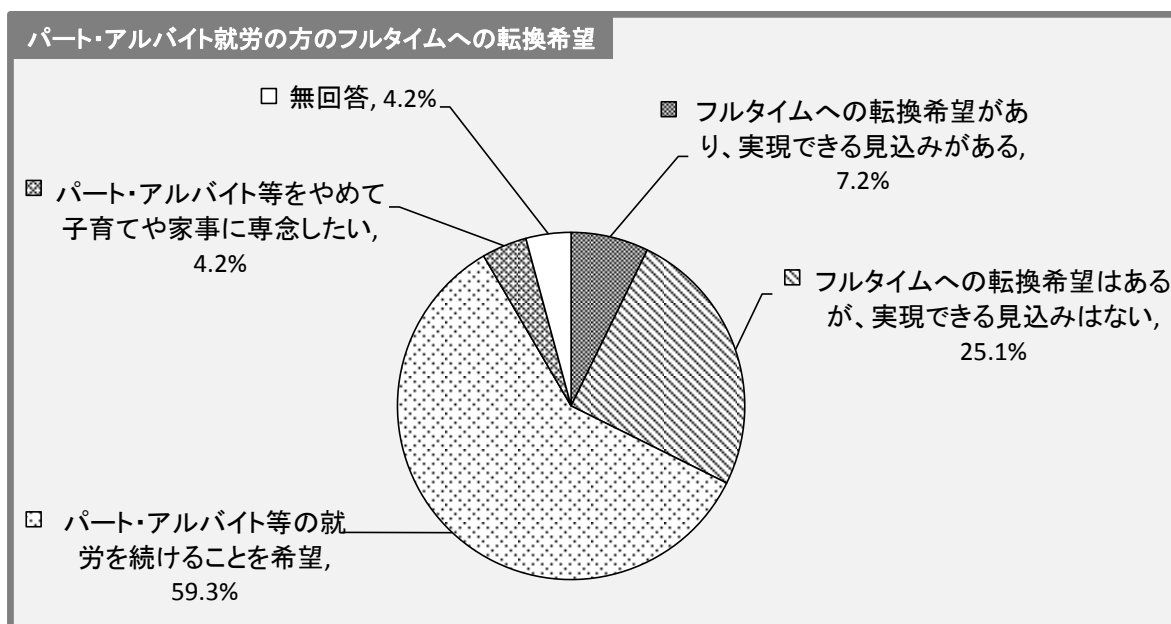


問 11 フルタイムへの転換希望はありますか。(問9で「3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方)

現在パート・アルバイト等で就労中の方のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が59.3%で最も多く、次いで、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が25.1%で続いています。

一方、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は7.2%となっています。

図 2-9 フルタイムへの転換希望 (単数回答 n=857)

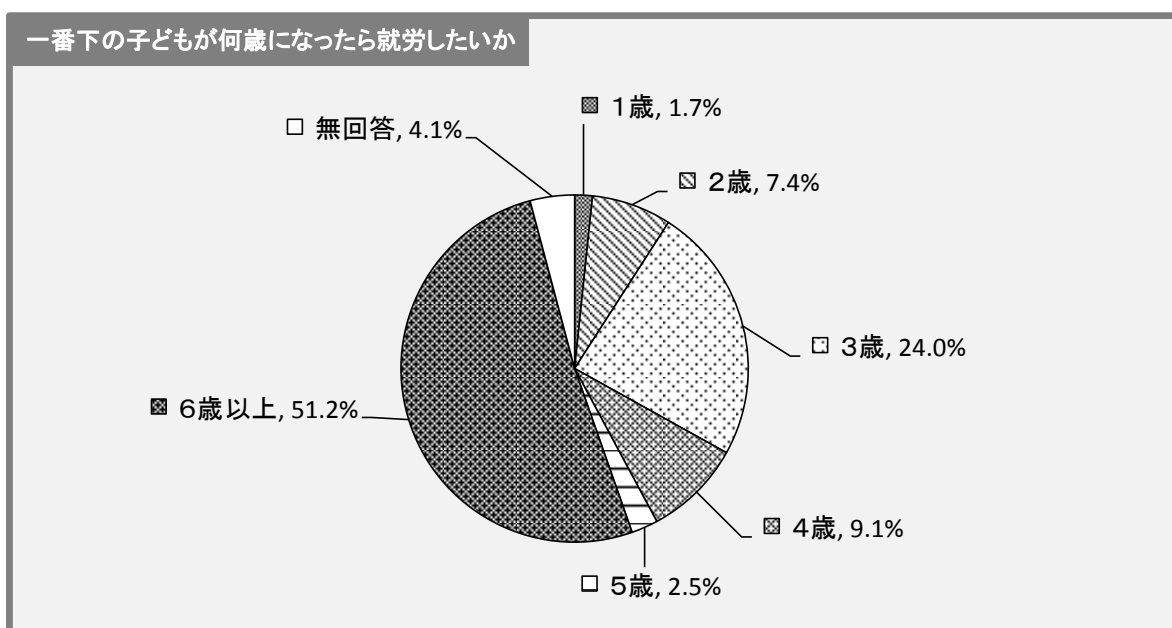
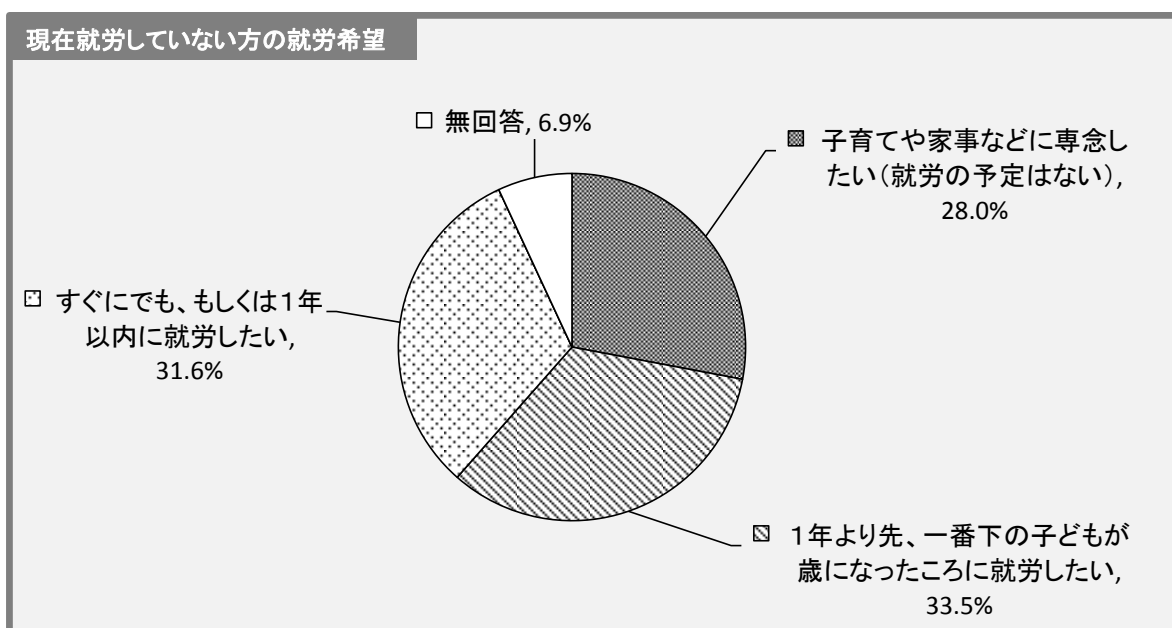


問 12-① 就労したいという希望はありますか。(問9で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方)

現在就労していない人の就労希望は、「1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい」が 33.5%を占めて最も多くなっており、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(31.6%)を合わせると『就労したい』方は 65.1%を占めています。一方、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」方は 28.0%となっています。

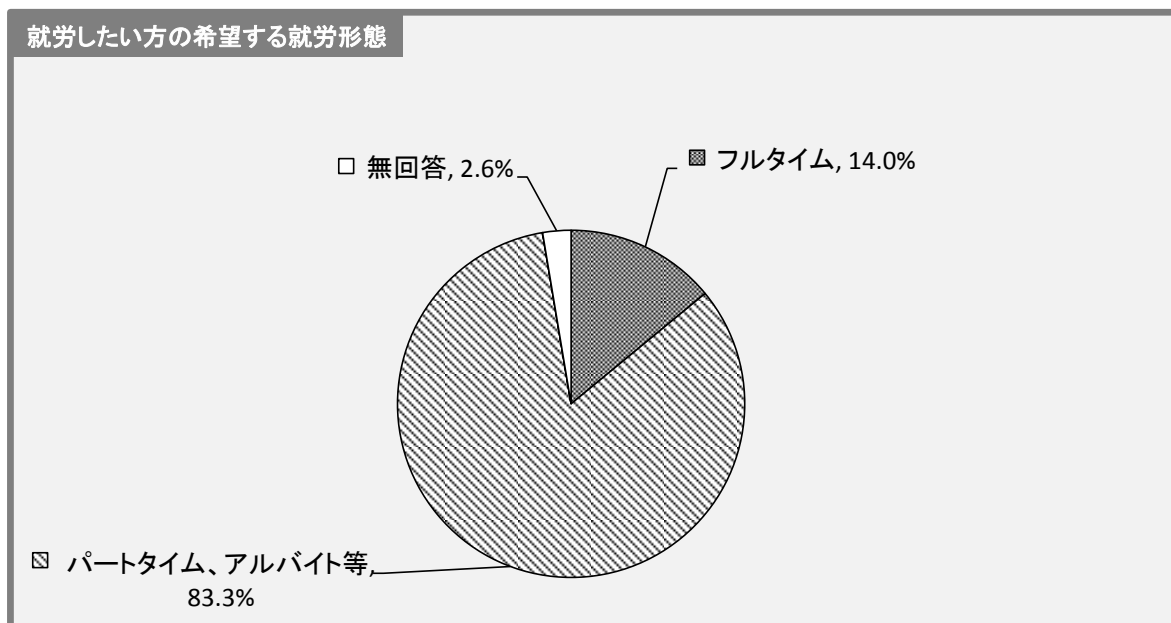
1番下の子どもが「6歳以上」になったら就労したいと考える方が 51.2%で最も多く、次いで、「3歳」(24.0%)、「4歳」(9.1%)と続いています。

図 2-10 就労希望 (単数回答 n=361) 希望する就労時期 (単数回答 n=121)



すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい方の希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が83.3%を占め、「フルタイム」は14.0%となっています。

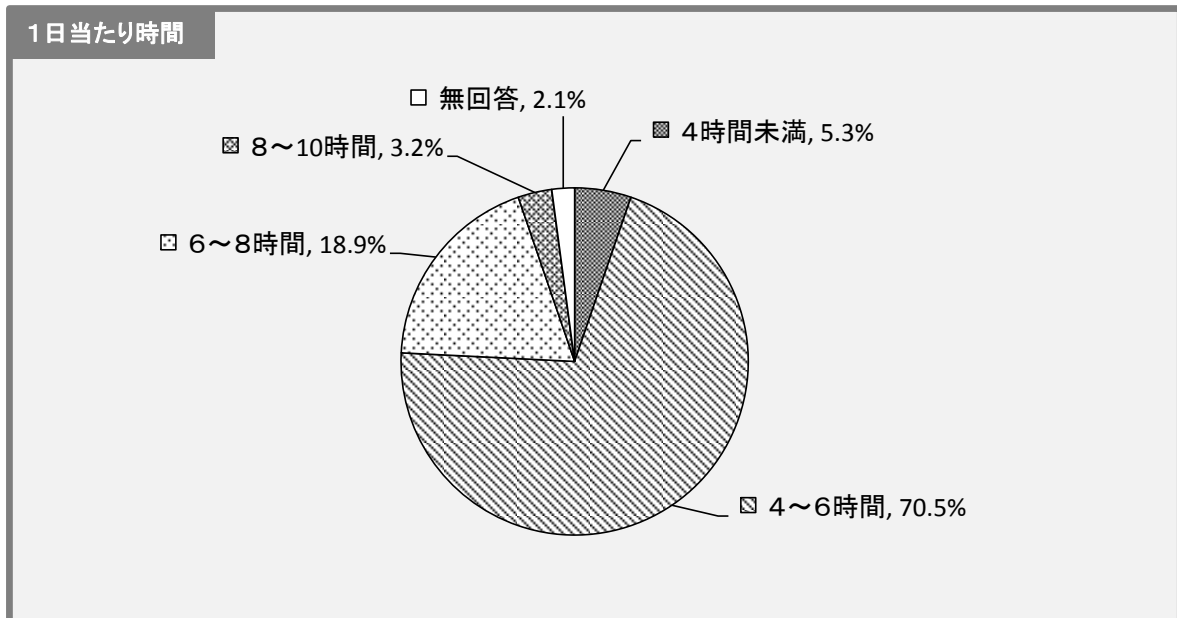
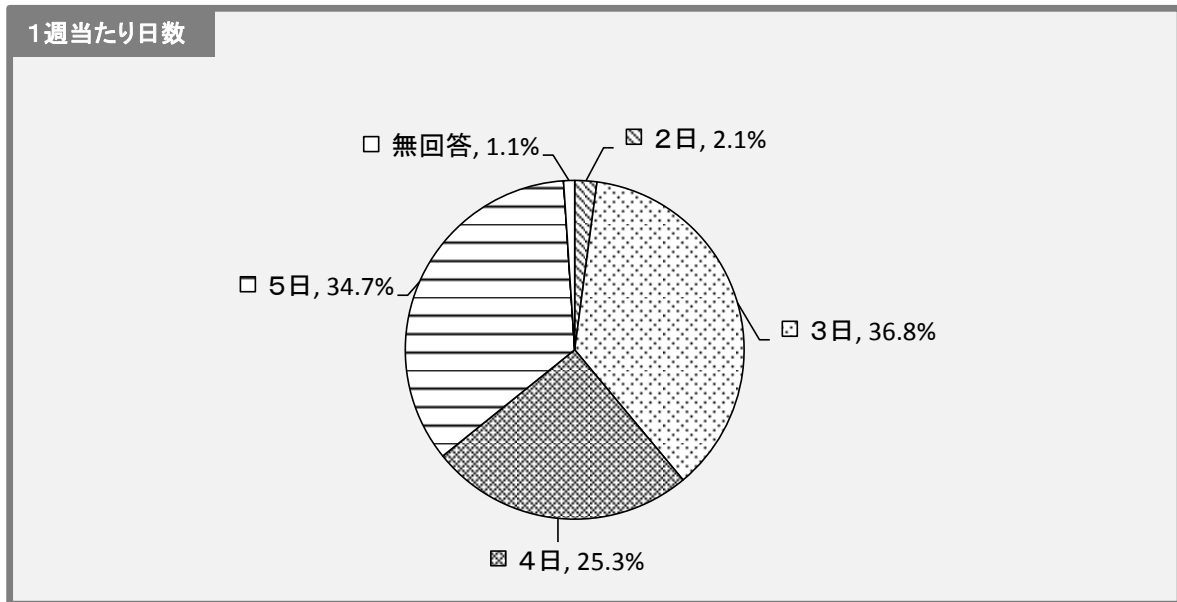
図2-11 希望する就労形態（単数回答 n=114）



パートタイム、アルバイト等で就労する場合の1週当たりの希望就労日数は、「3日」が36.8%で最も多く、次いで、「5日」(34.7%)、「4日」(25.3%)と続いています。

1日当たりの希望就労時間は、「4～6時間」が70.5%を占め最も多くなっています。

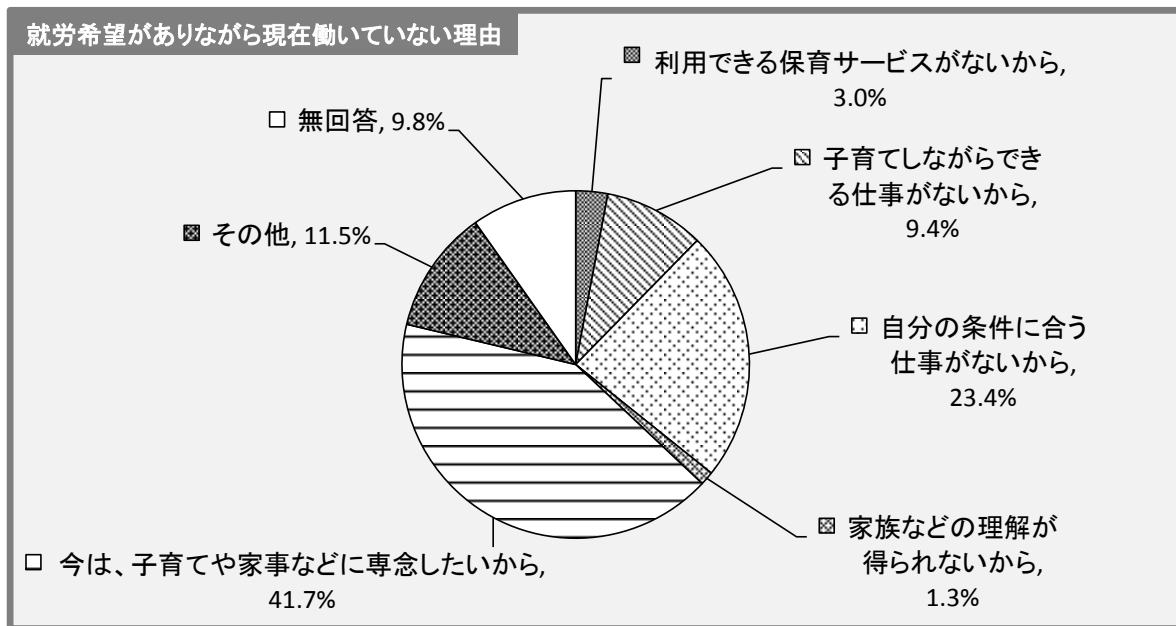
図2-12 希望する就労日数・1日当たり就労時間（単数回答 n=95）



問 12-② 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。(問 12-①で「2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい」「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方)

就労希望がありながら働いていない理由は、「今は、子育てや家事などに専念したいから」が41.7%を占め最も多くなっています。

図 2-13 就労希望がありながら働いていない理由 (単数回答 n=235)



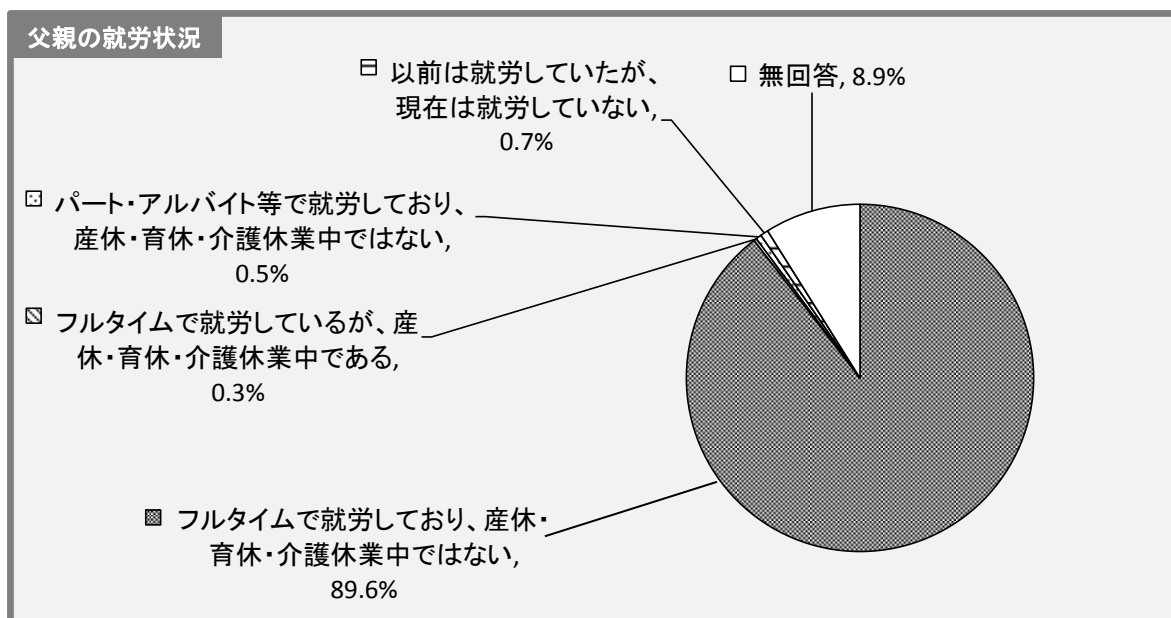
2) 父親の就労状況について

問 13 宛名のお子さんの父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。

父親の現在の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が89.6%を占めています。「以前は就労していたが、現在は就労していない」は0.7%（14人）、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は0.5%（10人）となっています。

一方、「フルタイムで就労しているが、産休、育休・介護休業中である」は0.3%（5人）となっています。

図 2-14 父親の就労状況（単数回答 n=1,905）

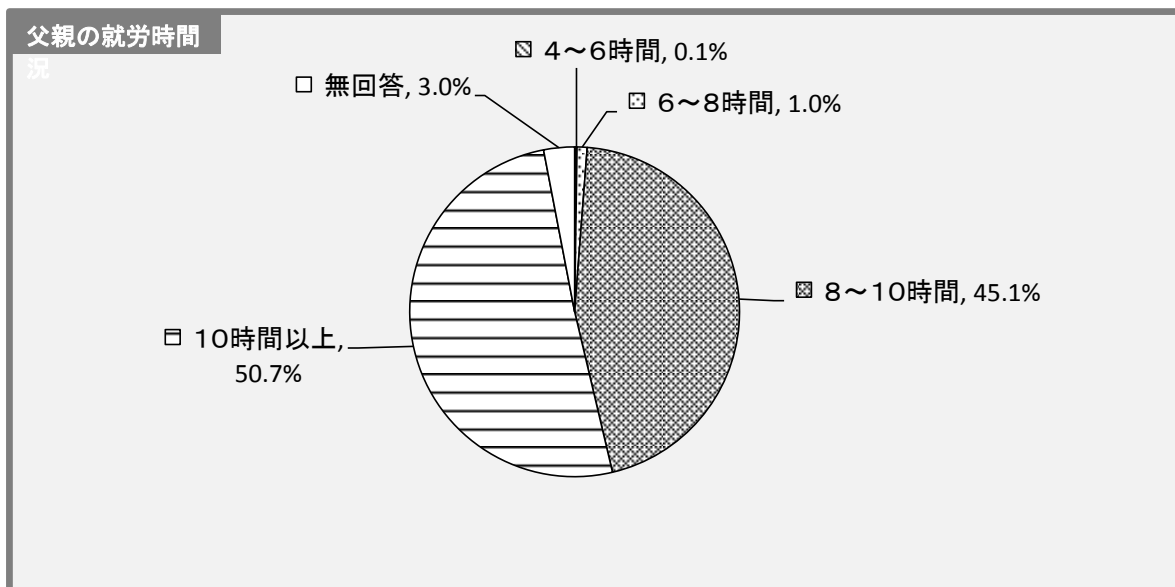
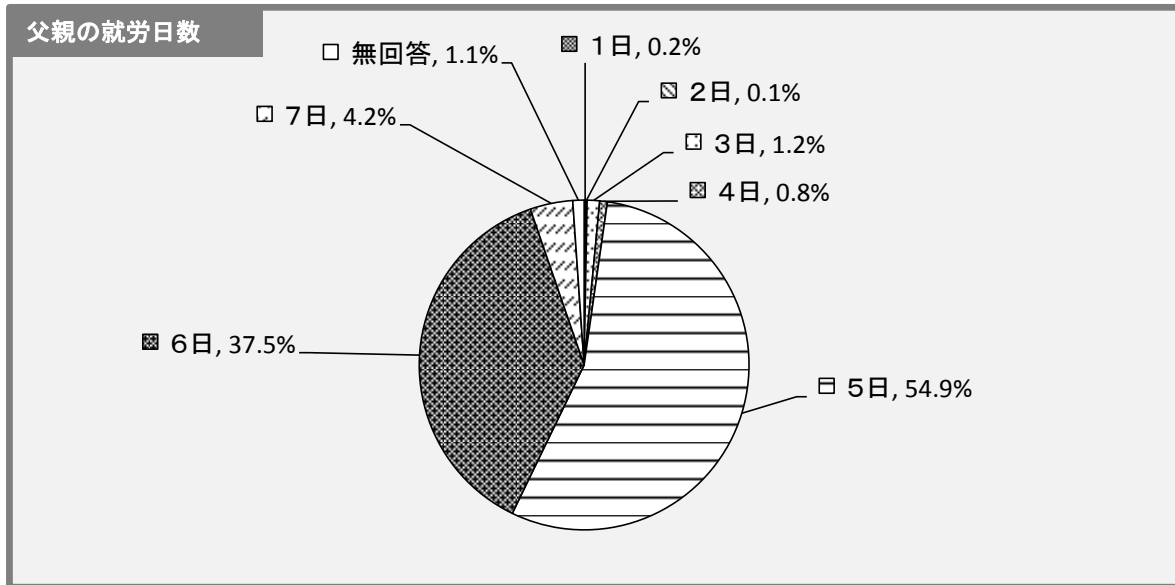


問 14-① 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。（問 13で「1」～「4」に○をつけた方）

父親の週当たりの就労日数は、「5日」が過半数を占めており、次いで、「6日」が 37.5%で続いています。

1日当たりの就労時間は、「10時間以上」が過半数を占めています。

図 2-15 父親の就労日数、就労時間（単数回答 n=1,721）

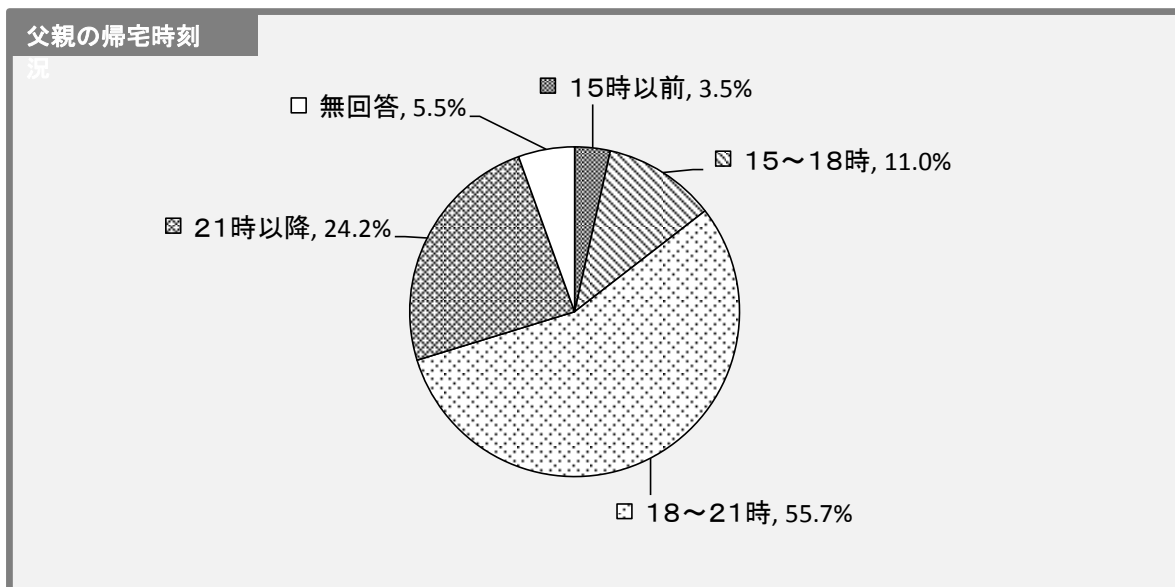
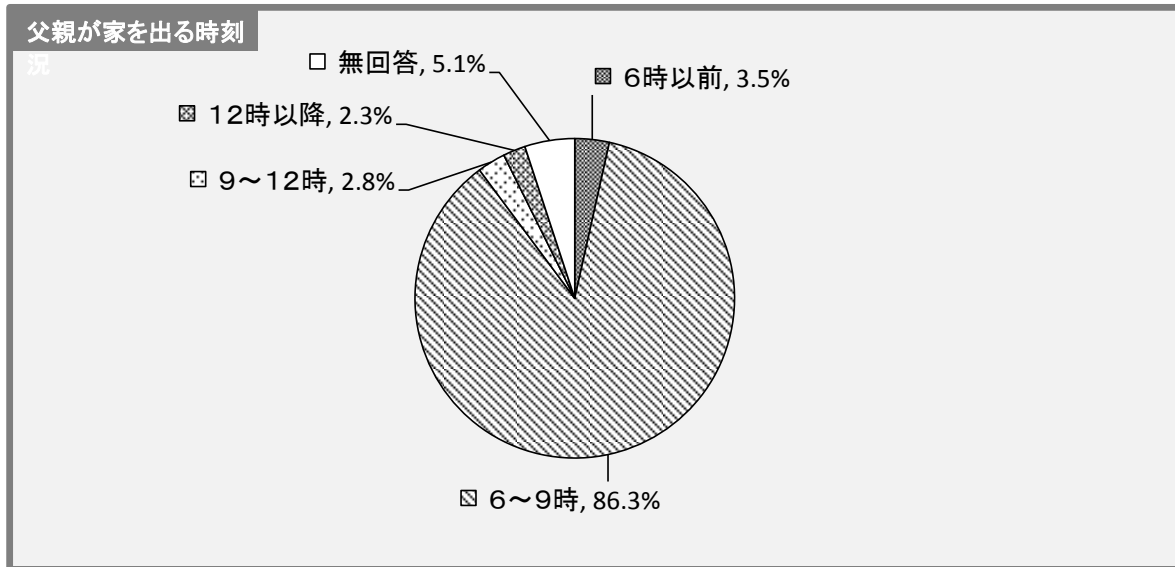


問 14-② 家を出る時刻、帰宅時刻をお答えください。(問 13 で「1」～「4」に○をつけた方)

父親の家を出る時刻は、「6～9時」が80%以上を占めています。

帰宅時間については、「18～21時」が55.7%で最も多く、次いで、「21時以降」が24.2%で続いています。

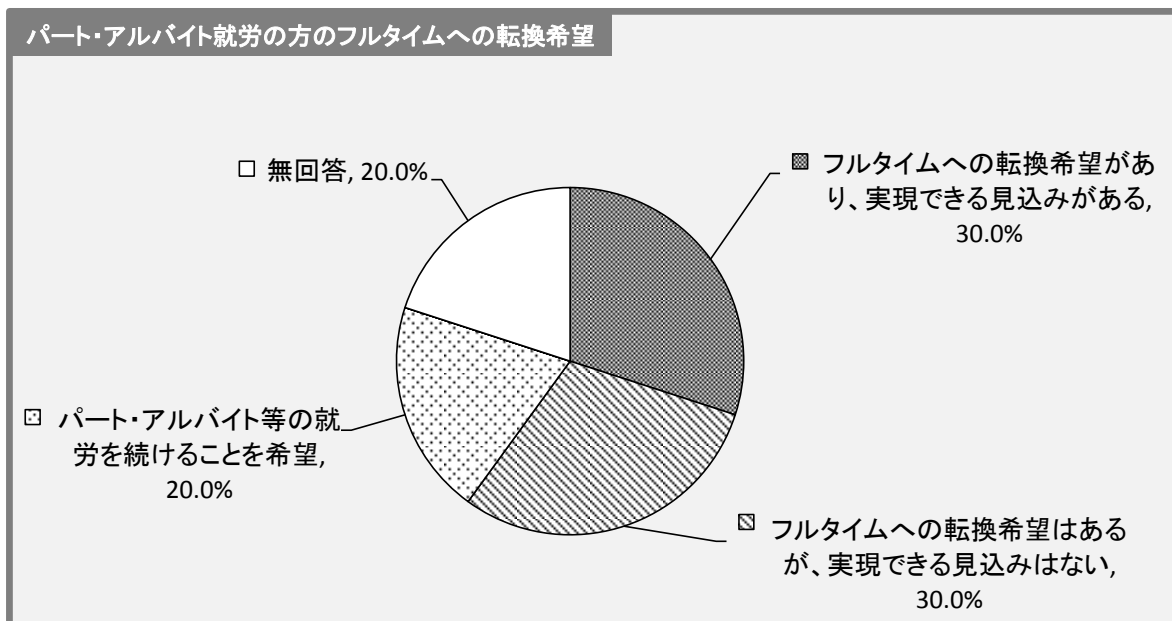
図 2-16 父親の家を出る時刻、帰宅時刻 (単数回答 n=1,721)



問 15 フルタイムへの転換希望はありますか。(問 13で「3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」「4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」に○をつけた方)

現在パート・アルバイト等で就労中の方のフルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」がそれぞれ 30.0% (3人)、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が 20.0% (2人) となっています。

図 2-17 フルタイムへの転換希望 (単数回答 n=10)

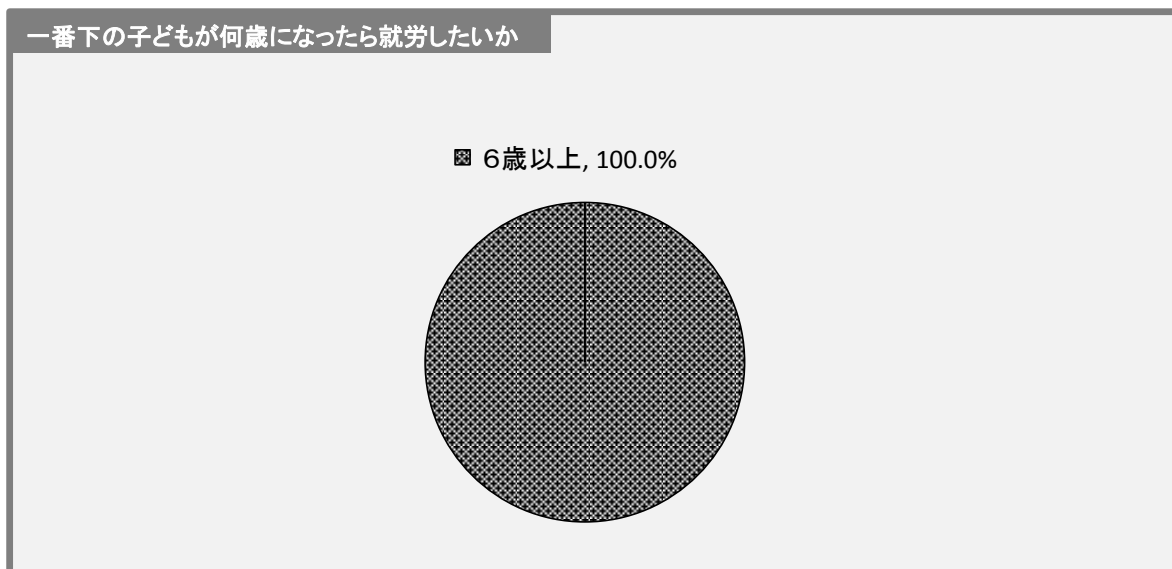
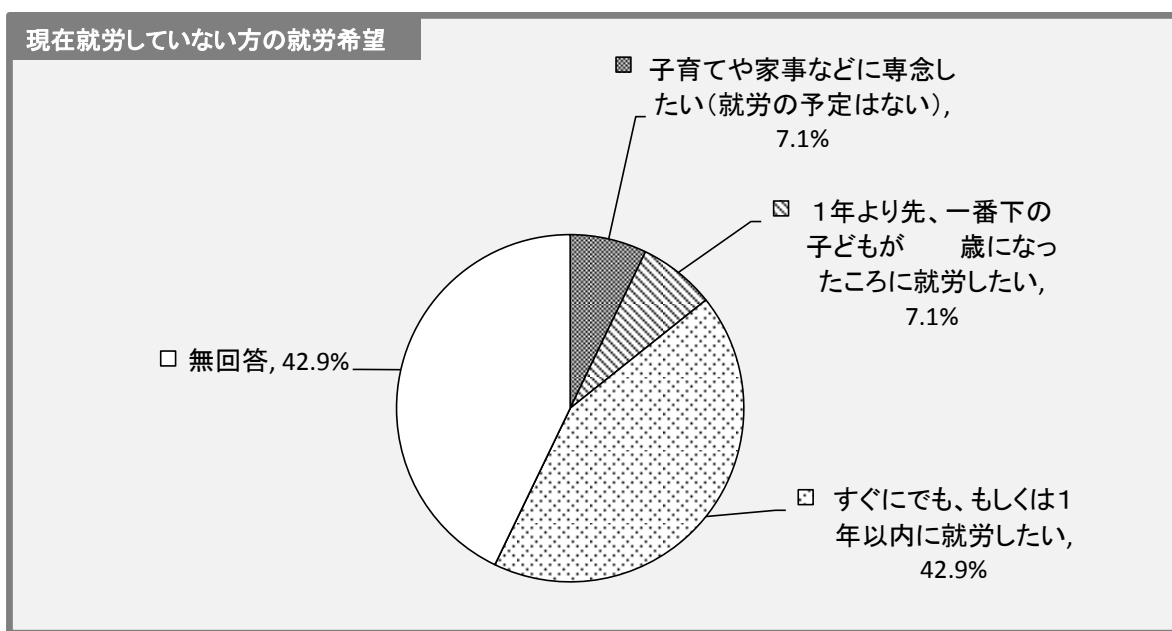


問 16-① 就労したいという希望はありますか。(問 13で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方)

現在就労していない人の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が42.9% (6人) を占めて最も多くなっており、「1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい」の7.1% (1人) を合わせると『就労したい』方は50% (7人) を占めています。一方、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」方は7.1% (1人) となっています。

また、「1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい」は、子どもが「6歳以上」になったら就労したいと考えています。

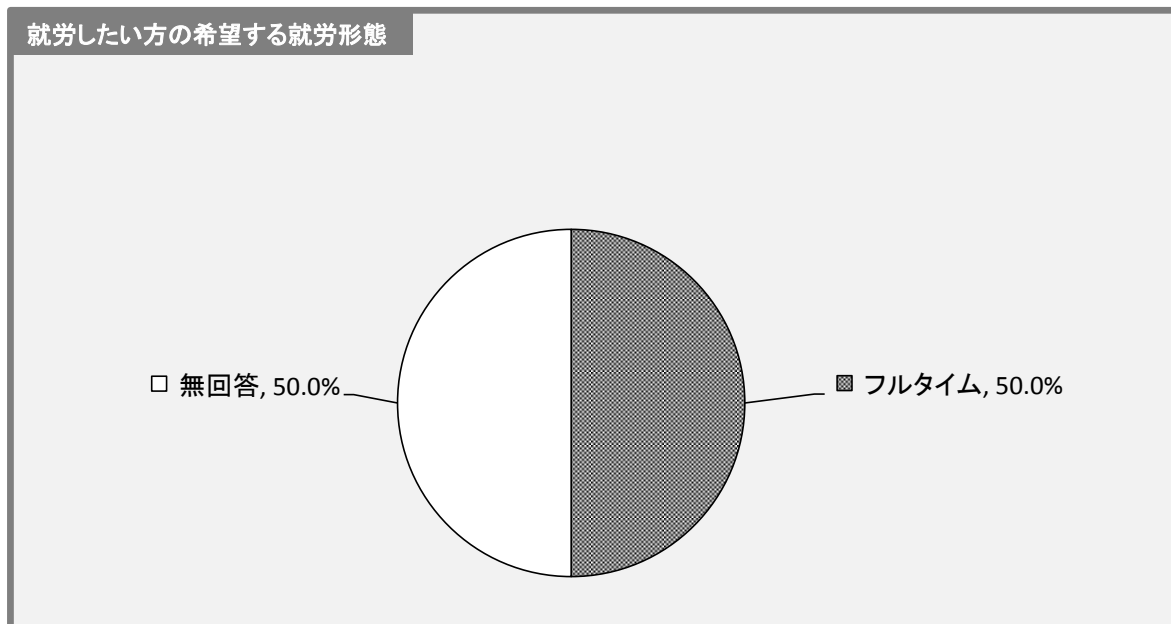
図 2-18 就労希望 (単数回答 n=14) 希望する就労時期 (単数回答 n=1)



すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい方の希望する就労形態は、「フルタイム」が50.0%（3人）を占めています。

「パートタイム、アルバイト等」で就労したい方はありません。

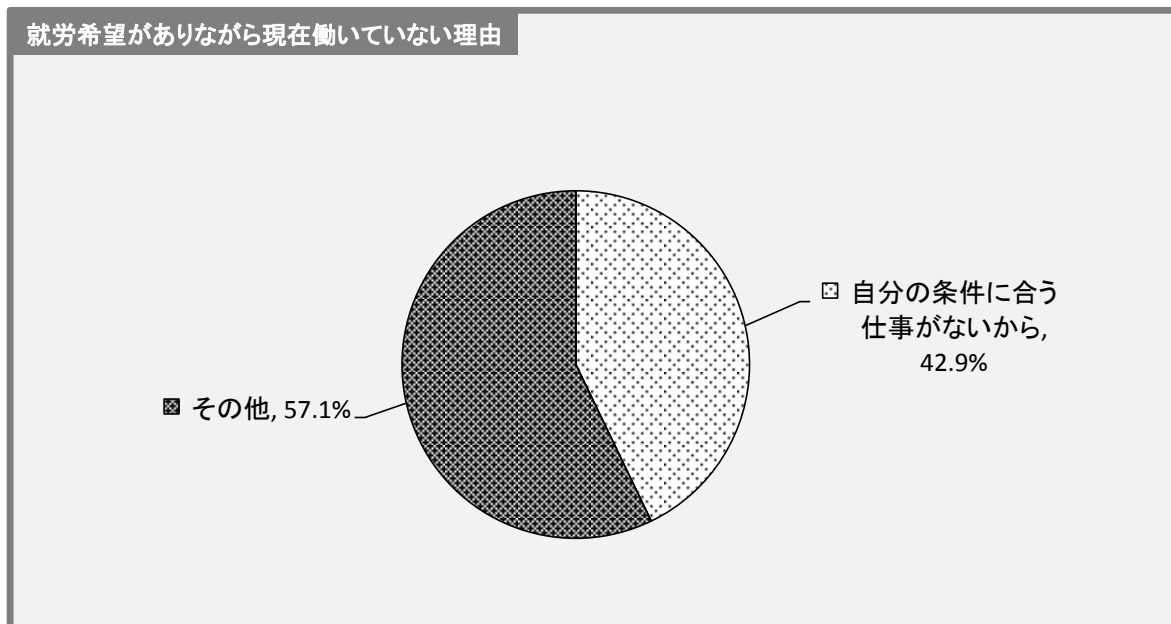
図2-19 希望する就労形態（単数回答 n=6）



問 16-② 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。(問 16-①で「2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい」「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方)

就労希望がありながら働いていない理由は、「自分の条件に合う仕事がないから」が 42.9% (3人) となっています。

図 2-20 就労希望がありながら働いていない理由 (単数回答 n=7)



3. 子育てと仕事との両立について

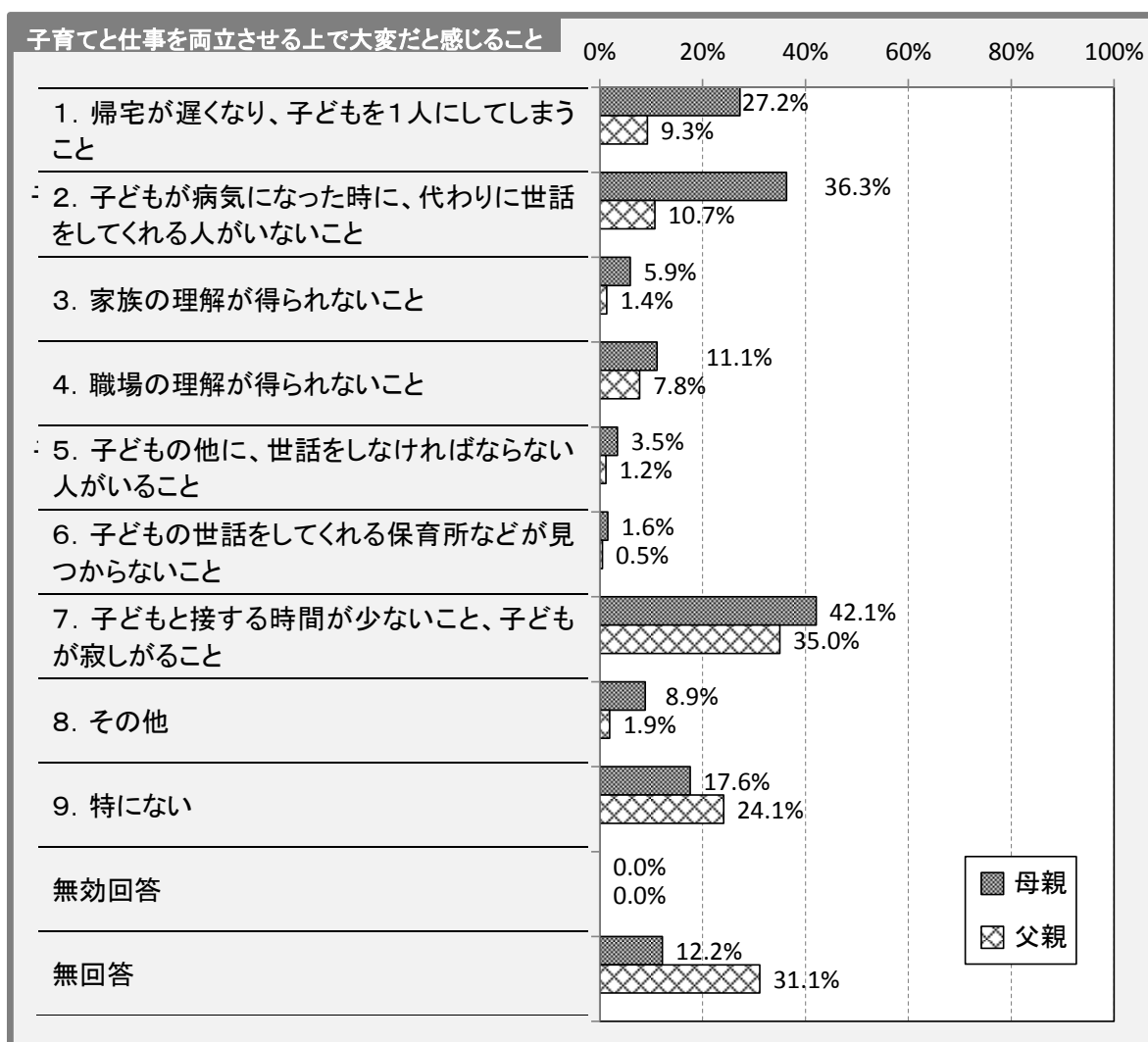
問 17 子育てと仕事を両立させるうえで大変だと感じることはどのようなことですか。

仕事と子育てを両立する上で大変だと感じることについては、「母親」では「子どもと接する時間が少ないこと、子どもが寂しがること」が 42.1%で最も多く、次いで、「子どもが病気になった時に、代わりに世話をしてくれる人がいないこと」(36.3%)、「帰宅が遅くなり、子どもを1人にしてしまうこと」(27.2%)と続いています。

「父親」でも「子どもと接する時間が少ないこと、子どもが寂しがること」が 35.0%で最も多く、次いで「子どもが病気になった時に、代わりに世話をしてくれる人がいないこと」(10.7%)が続いています。

「母親」の「子どもが病気になった時に、代わりに世話をしてくれる人がいないこと」は「父親」を 25.6 ポイント上回っています。

図 2-21 子育てと仕事を両立させるうえで大変だと感じること（複数回答・2つまで n=1,905）



4. 放課後の過ごし方について

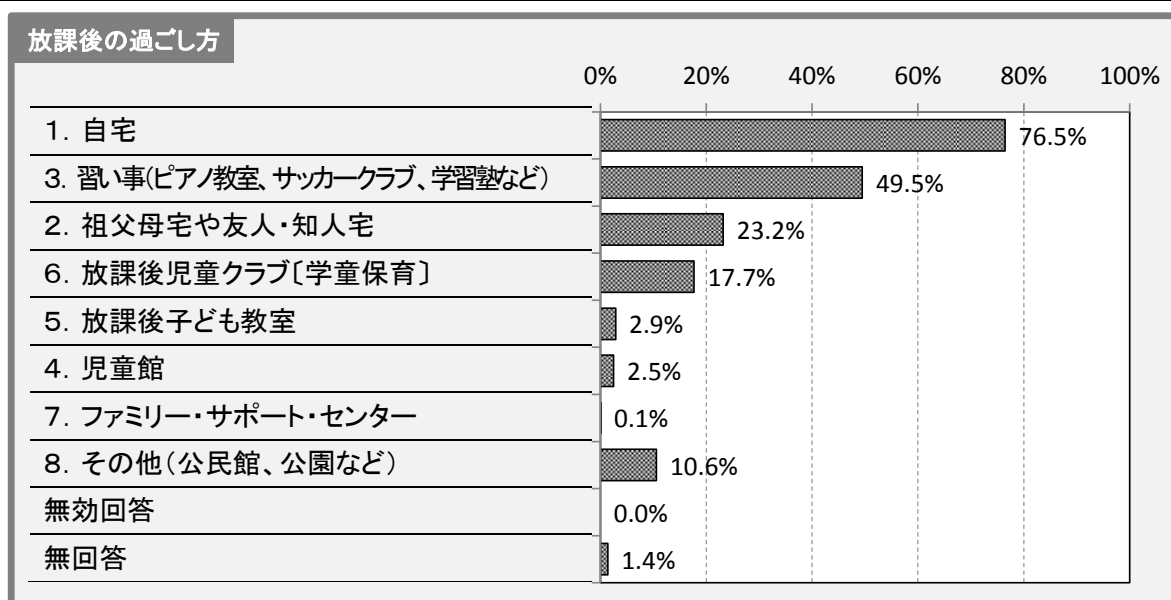
問 18 宛名のお子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。

現在のお子さんの放課後の過ごし方については、「自宅」が 76.5%で最も多く、次いで、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(49.5%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(23.2%)と続いています。

一方、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」は 17.7%、「放課後子ども教室」は 2.9%、「児童館」は 2.5%、「ファミリー・サポート・センター」は 0.1%となっています。

放課後の過ごし方別の平均日数は、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が 4.4 日、「自宅」が 3.9 日、「児童館」が 3.1 日、「祖父母宅や友人・知人宅」が 2.6 日となっています。

図 2-22 放課後の過ごし方（複数回答・いくつでも n=1,905）



【放課後の過ごし方別平均日数】

	数値回答者数	合計日数	平均日数
1. 自宅	1,375	5,368	3.9
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	929	2,037	2.2
2. 祖父母宅や友人・知人宅	428	1,090	2.6
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	329	1,454	4.4
5. 放課後子ども教室	54	120	2.2
4. 児童館	46	143	3.1
7. ファミリー・サポート・センター	1	1	1.0
8. その他（公民館、公園など）	191	484	2.5

学年別に見ると、いずれの学年も「自宅」が70%以上に上りますが、学年が上がるにつれて増加する傾向があります。また、「習い事」についても、学年が上がるにつれて増加します。一方、「放課後児童クラブ」については、学年が上がるにつれて減少し、『1年生』の22.8%から、『3年生』では10.4%となります。

地区別に見ると、いずれの地区も「自宅」が最も多いですが、『阿山』では約90%に上ります。一方、『島ヶ原』では「放課後児童クラブ」が比較的多く、26.3%となっています。

【学年別集計】

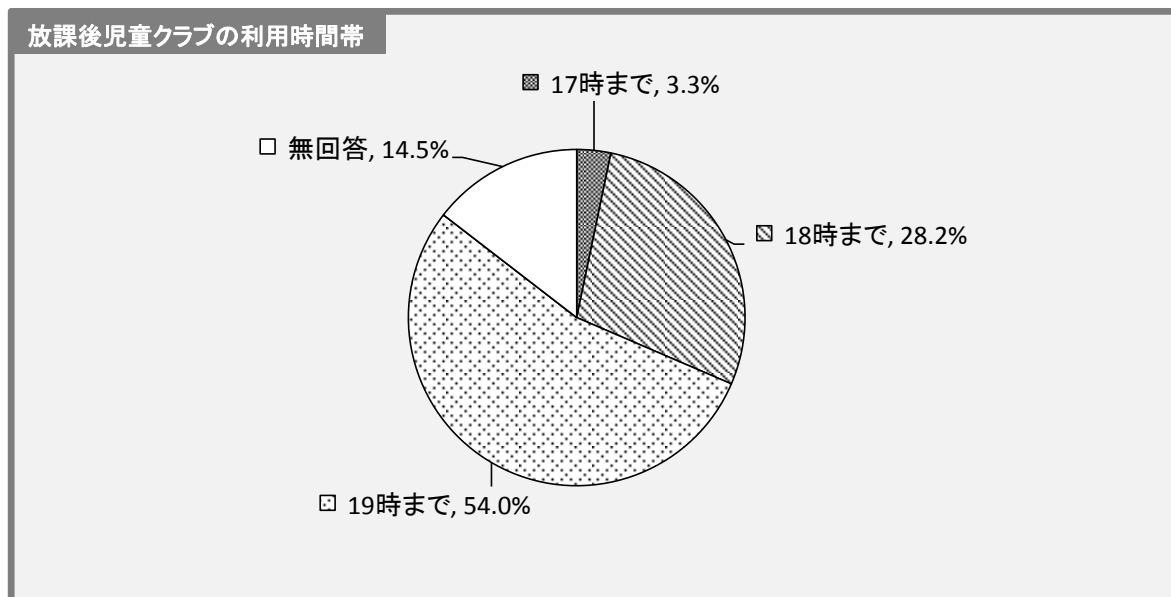
上段:度数(人) / 下段:%	1年生	2年生	3年生
1. 自宅	466	491	487
	73.3	75.5	84.3
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	270	340	325
	42.5	52.3	56.2
2. 祖父母宅や友人・知人宅	147	152	139
	23.1	23.4	24.0
6. 放課後児童クラブ	145	131	60
	22.8	20.2	10.4
5. 放課後子ども教室	23	21	11
	3.6	3.2	1.9
4. 児童館	21	21	6
	3.3	3.2	1.0
7. ファミリー・サポート・センター	1	-	-
	0.2	-	-
8. その他(公民館、公園など)	70	78	52
	11.0	12.0	9.0
全体	636	650	578
	100.0	100.0	100.0

【地区別集計】

上段:度数(人) / 下段:%	上野	伊賀	島ヶ原	阿山	大山田	青山
1. 自宅	912	130	28	112	67	118
	76.8	81.8	73.7	90.3	78.8	75.6
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	612	83	15	66	39	71
	51.5	52.2	39.5	53.2	45.9	45.5
2. 祖父母宅や友人・知人宅	291	40	6	23	22	43
	24.5	25.2	15.8	18.5	25.9	27.6
6. 放課後児童クラブ	221	21	10	10	13	28
	18.6	13.2	26.3	8.1	15.3	17.9
5. 放課後子ども教室	26	21	-	-	2	6
	2.2	13.2	-	-	2.4	3.8
4. 児童館	35	4	1	-	-	1
	2.9	2.5	2.6	-	-	0.6
7. ファミリー・サポート・センター	-	1	-	-	-	-
	-	0.6	-	-	-	-
8. その他(公民館、公園など)	137	6	1	4	9	31
	11.5	3.8	2.6	3.2	10.6	19.9
全体	1188	159	38	124	85	156
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

放課後児童クラブの利用時間は、「19 時まで」が 54.0%で最も多く、次いで、「18 時まで」(28.2%)、「17 時まで」(3.3%) となっています。

図 2-23 放課後児童クラブの利用時間 (単数回答 n=337)

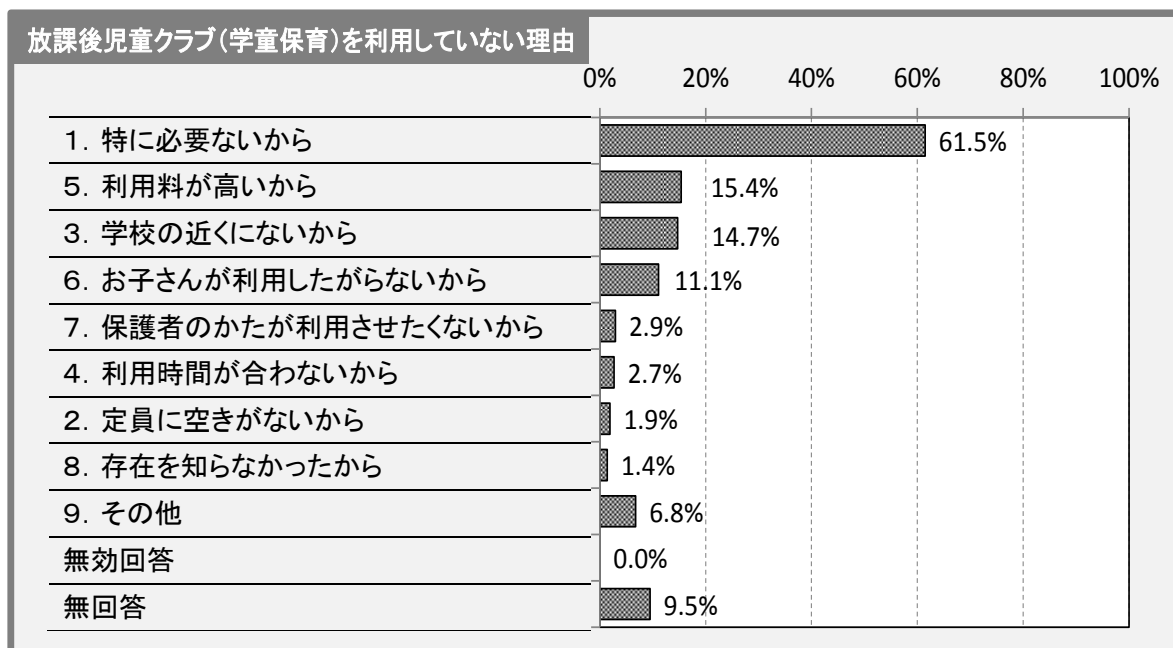


問 18—① 利用していない理由は何ですか。(問 18 で「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○をつけなかった方)

放課後児童クラブを利用していない理由は、「特に必要ないから」が61.5%で最も多くなっています。一方、「利用料が高いから」(15.4%)や「学校の近くにないから」(14.7%)、「利用時間が合わないから」(2.7%)、「定員に空きがないから」(1.9%)などの内容や料金、条件等が理由で利用していない人も一定の割合に上ります。

また、「存在を知らなかったから」は1.4%あります。

図 2-24 放課後児童クラブを利用していない理由 (複数回答・いくつでも n=1,568)



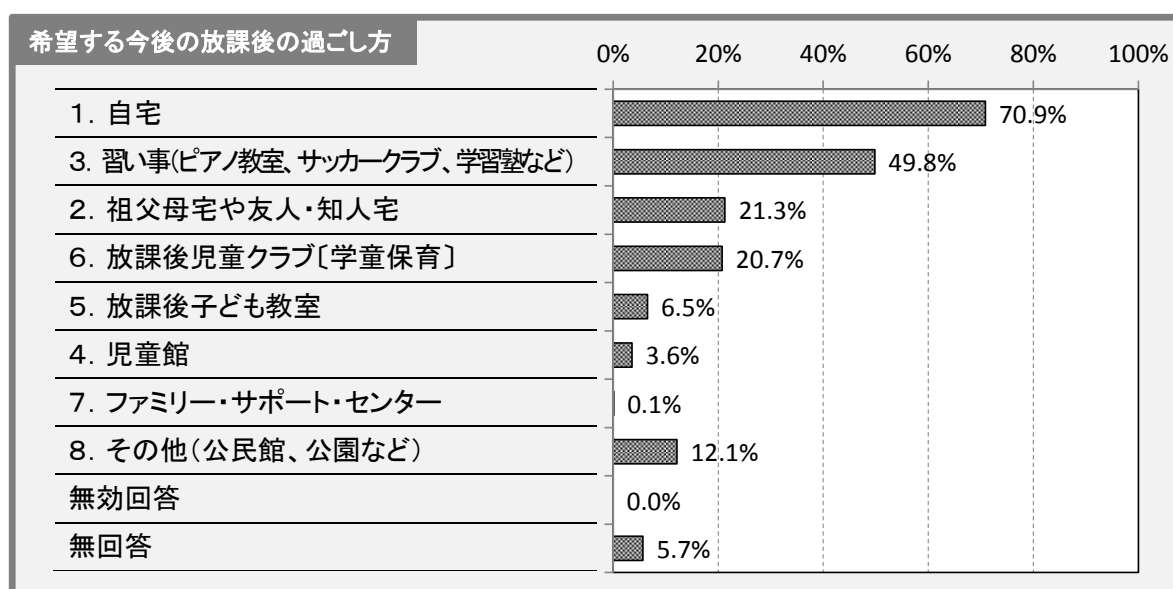
問 19 お子さんについて、今後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

どのような場所で放課後を過ごさせたいかについては、「自宅」が70.9%で最も多く、次いで、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（49.8%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（21.3%）と続いています。

一方、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」は20.7%、「放課後子ども教室」は6.5%、「児童館」は3.6%、「ファミリー・サポート・センター」は0.1%（2人）となっています。

希望する放課後の過ごし方別の平均日数は、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が4.0日、「自宅」が3.7日、「児童館」が3.0日、「放課後子ども教室」が2.5日、「習い事」が2.1日となっています。

図 2-25 希望する今後の放課後の過ごし方（複数回答・いくつでも n=1,905）



【希望する放課後の過ごし方別平均日数】

	数値回答者数	合計日数	平均日数
1. 自宅	1,192	4,389	3.7
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	880	1,875	2.1
2. 祖父母宅や友人・知人宅	365	841	2.3
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	356	1,425	4.0
5. 放課後子ども教室	110	279	2.5
4. 児童館	60	177	3.0
7. ファミリー・サポート・センター	2	4	2.0
8. その他（公民館、公園など）	203	496	2.4

学年別に見ると、現在の過ごし方と同様、いずれの学年も「自宅」が最も多く、学年が上がるにつれて増加する傾向があります。また、「習い事」については、『2年生』と『3年生』はあまり差がありません。「放課後児童クラブ」についても、現在の過ごし方と同様、学年が上がるにつれて減少し、『1年生』の29.3%から、『3年生』では14.4%となります。

地区別に見ると、いずれの地区も「自宅」が最も多く、現在の過ごし方と同様、『阿山』では約90%に上ります。一方、「放課後児童クラブ」は、『島ヶ原』『上野』で多くなっています。

【学年別集計】

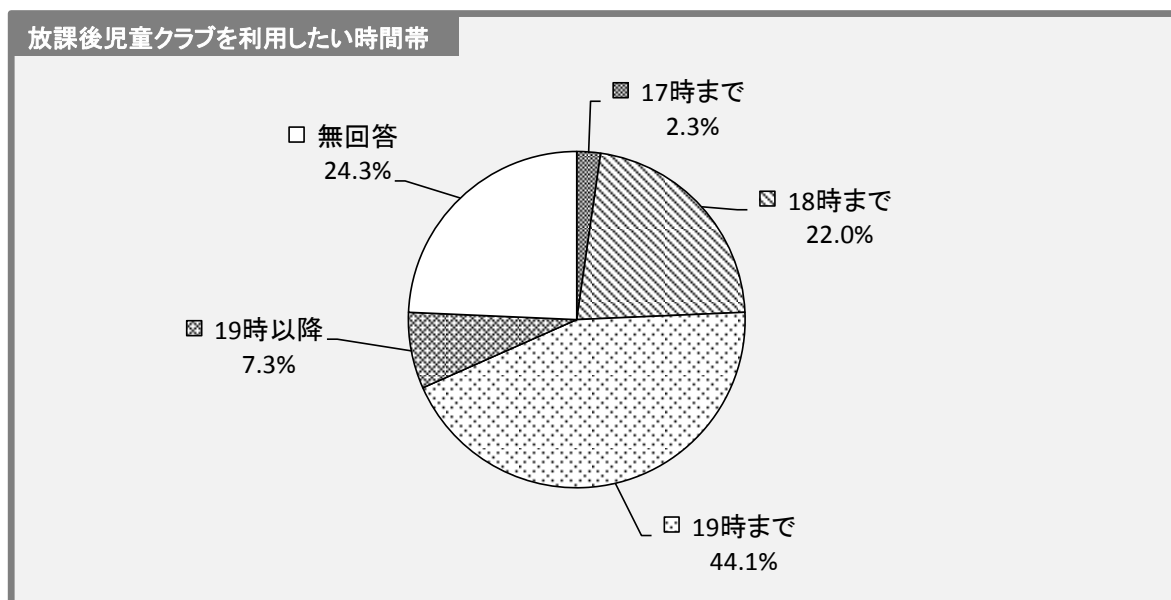
上段:度数(人) / 下段:%	1年生	2年生	3年生
1. 自宅	418	475	451
	68.0	76.5	82.0
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	280	358	305
	45.5	57.6	55.5
2. 祖父母宅や友人・知人宅	126	147	128
	20.5	23.7	23.3
6. 放課後児童クラブ	180	134	79
	29.3	21.6	14.4
5. 放課後子ども教室	47	45	32
	7.6	7.2	5.8
4. 児童館	24	30	14
	3.9	4.8	2.5
7. ファミリー・サポート・センター	1	1	-
	0.2	0.2	-
8. その他(公民館、公園など)	80	89	60
	13.0	14.3	10.9
全体	615	621	550
	100.0	100.0	100.0

【地区別集計】

上段:度数(人) / 下段:%	上野	伊賀	島ヶ原	阿山	大山田	青山
1. 自宅	848	115	29	104	63	114
	73.9	76.7	78.4	88.1	77.8	77.0
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	611	79	16	70	41	78
	53.2	52.7	43.2	59.3	50.6	52.7
2. 祖父母宅や友人・知人宅	274	34	7	18	17	37
	23.9	22.7	18.9	15.3	21.0	25.0
6. 放課後児童クラブ	264	32	9	16	14	27
	23.0	21.3	24.3	13.6	17.3	18.2
5. 放課後子ども教室	81	21	-	4	6	8
	7.1	14.0	-	3.4	7.4	5.4
4. 児童館	55	2	1	-	1	2
	4.8	1.3	2.7	-	1.2	1.4
7. ファミリー・サポート・センター	-	1	-	-	-	-
	-	0.7	-	-	-	-
8. その他(公民館、公園など)	153	9	2	8	8	32
	13.3	6.0	5.4	6.8	9.9	21.6
全体	1148	150	37	118	81	148
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

学童保育所の利用希望時間は、「19 時まで」が 44.1%で最も多く、次いで、「18 時まで」(22.0%)、「19 時以降」(7.3%) となっています。

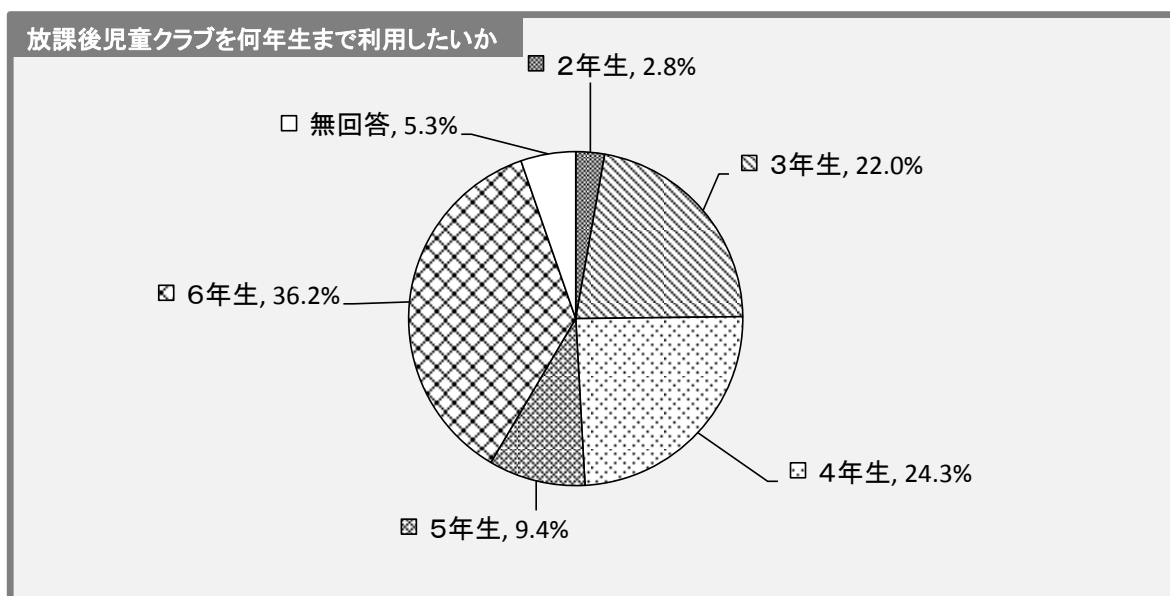
図 2-26 放課後児童クラブの利用希望時間（単数回答 n=395）



問 20—① 宛名のお子さんについて、何年生になるまで放課後児童クラブを利用したいですか。(問 19で「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○をつけた方)

放課後児童クラブの利用を希望する学年については、「6年生」までが 36.2%を占めており、「4年生」までは 24.3%、「3年生」までは 22.0%となっています。

図 2-27 放課後児童クラブの利用を希望する学年 (単数回答 n=395)



問 20—② お子さんについて、(1) 土曜日と (2) 日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(問 19 で「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」に〇をつけた方)

土曜と日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望については、土曜日は、「利用する必要はない」が 72.9%を占めており、「利用したい」は 20.0%となっています。また、利用したい時間帯は、「18 時まで」が 64.6%で最も多くなっています。

日曜・祝日は、「利用する必要はない」が 82.0%を占めており、「利用したい」は 8.6%となっています。また、利用したい時間帯は、「18 時以降」が 70.6%で最も多く、次いで「18 時まで」が 23.5%となっています。

図 2-28 土曜と日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望 (単数回答 n=395)

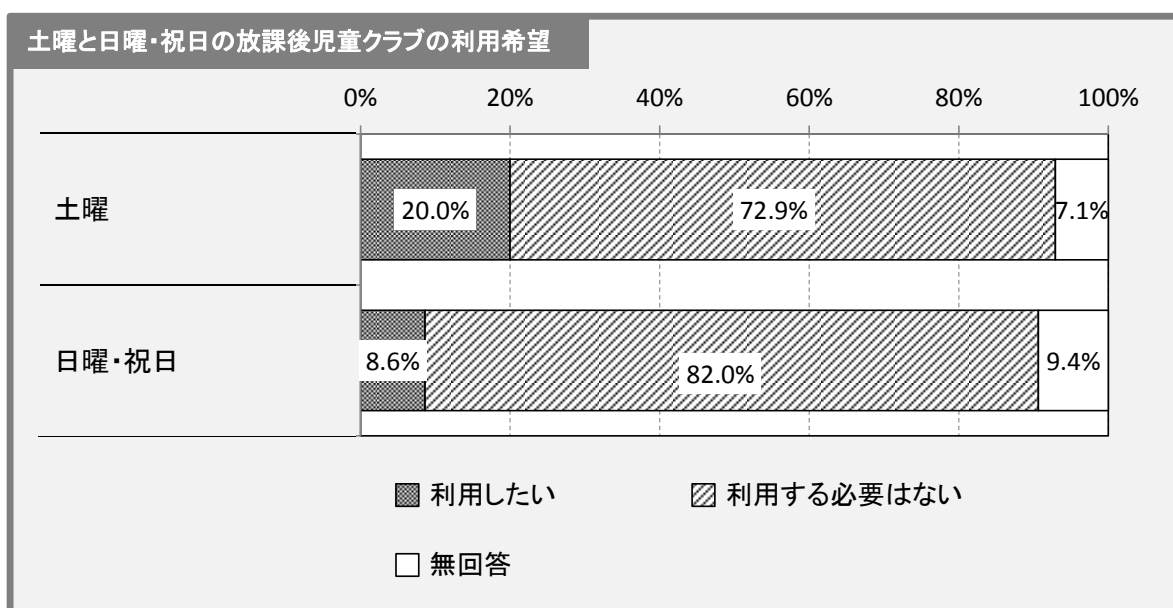


図 2-29 土曜日の放課後児童クラブの利用希望時間帯（単数回答 n=79）

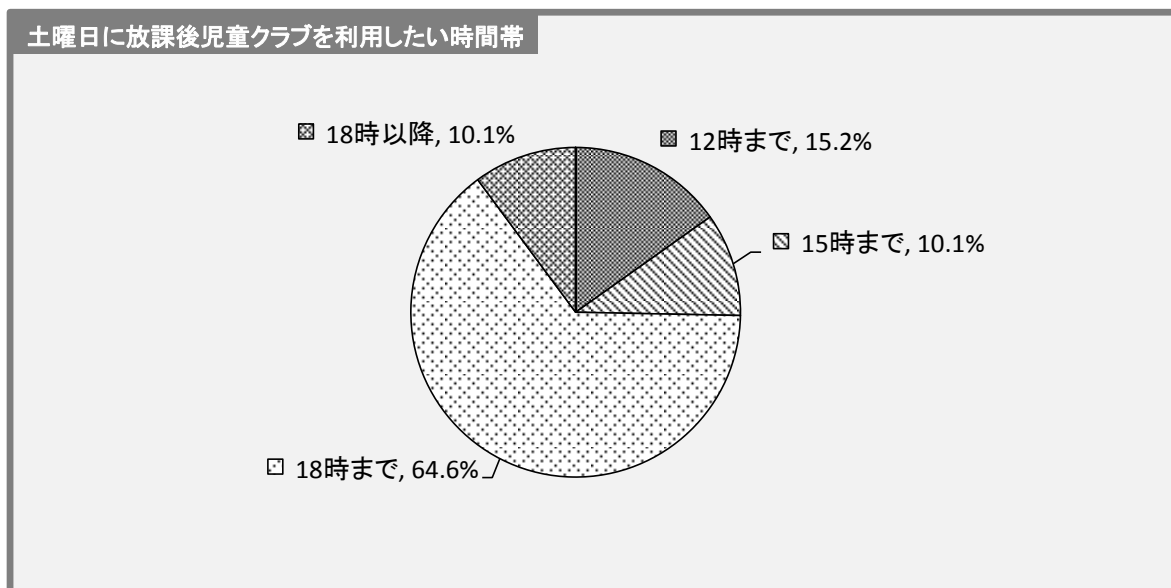
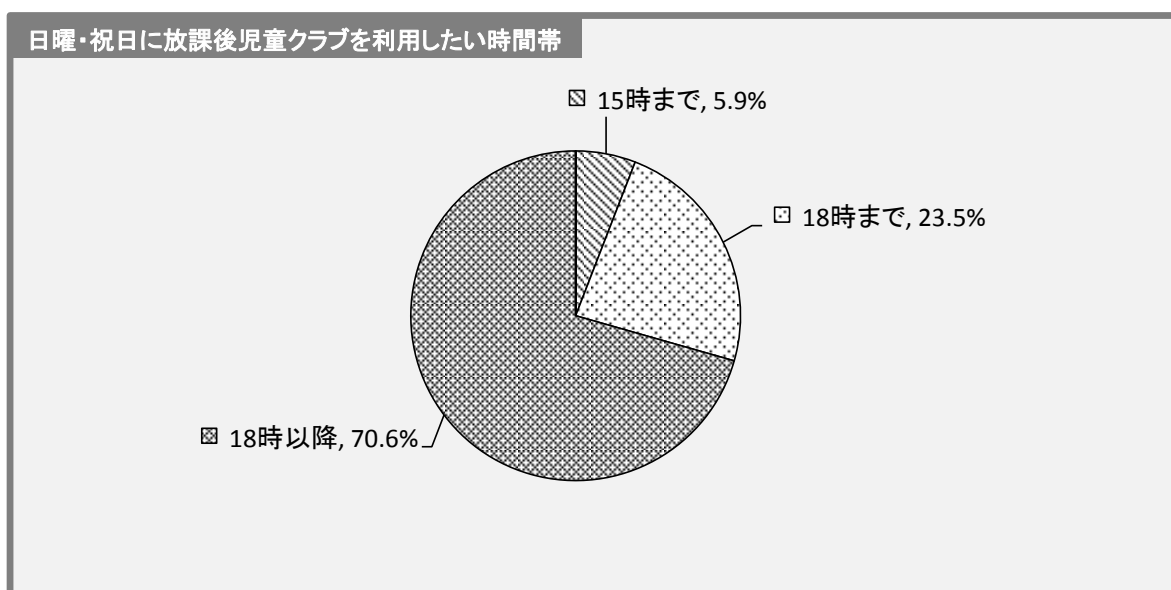


図 2-30 日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望時間帯（単数回答 n=34）



問 20—③ お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。(問 19 で「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○をつけた方)

長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望については、「利用したい」が 89.9%を占めています。一方、「利用する必要はない」は 6.8%となっています。

利用を希望する時間帯は、「18時まで」が 59.7%、「17時まで」が 29.0%となっています。

図 2-31 長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用意向と希望する時間帯 (単数回答 n=395)

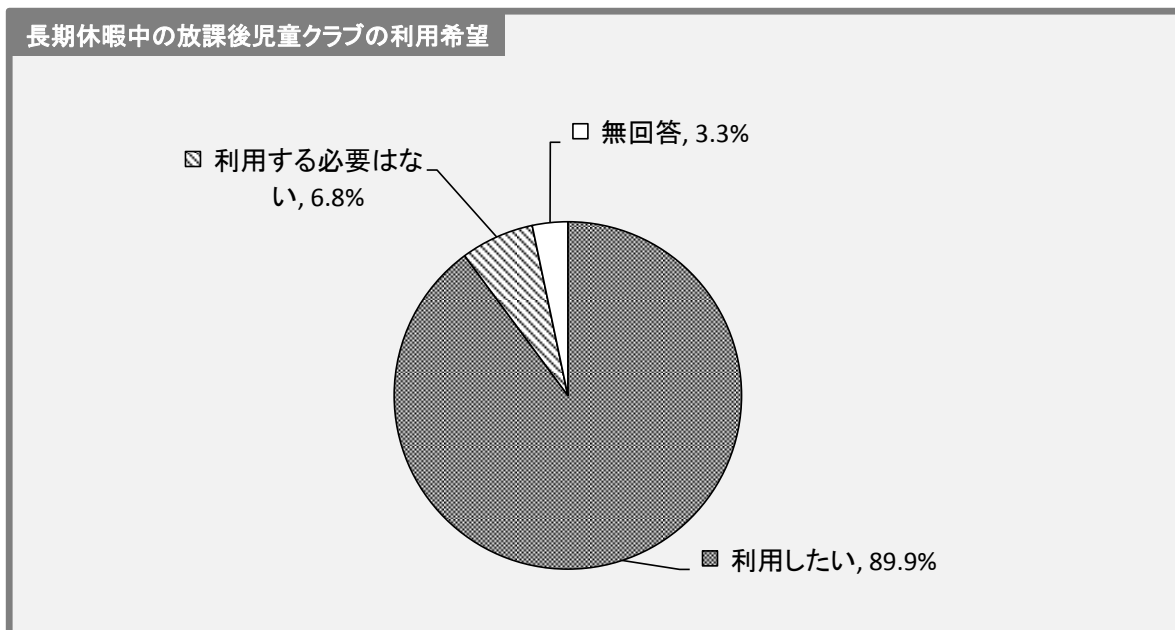
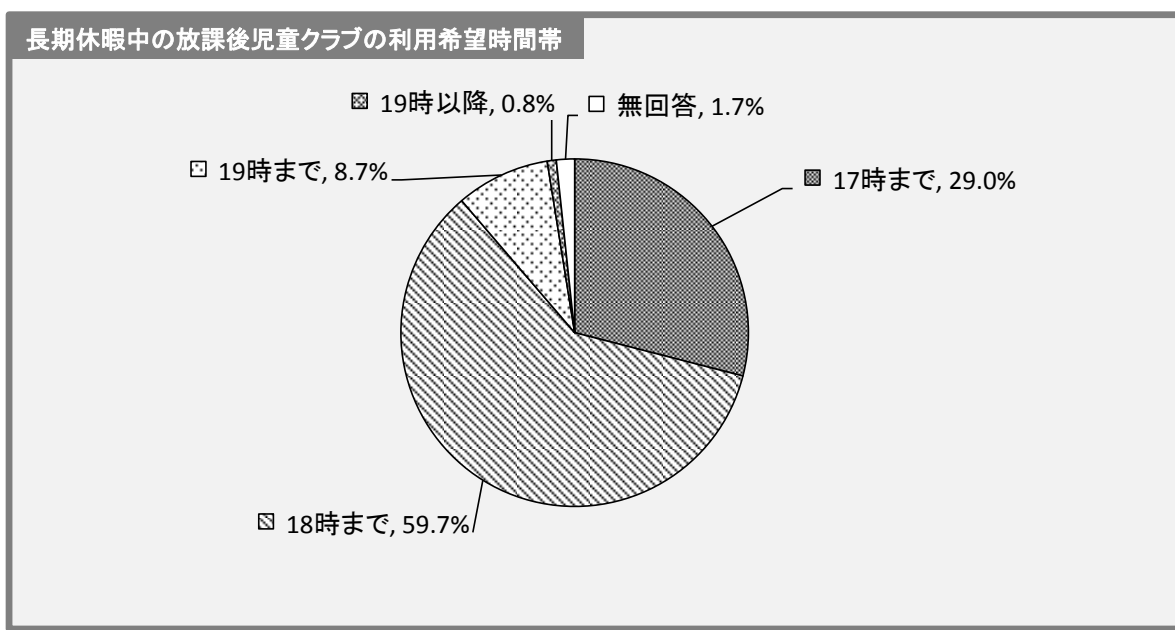


図 2-32 長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用を希望する時間帯 (単数回答 n=355)

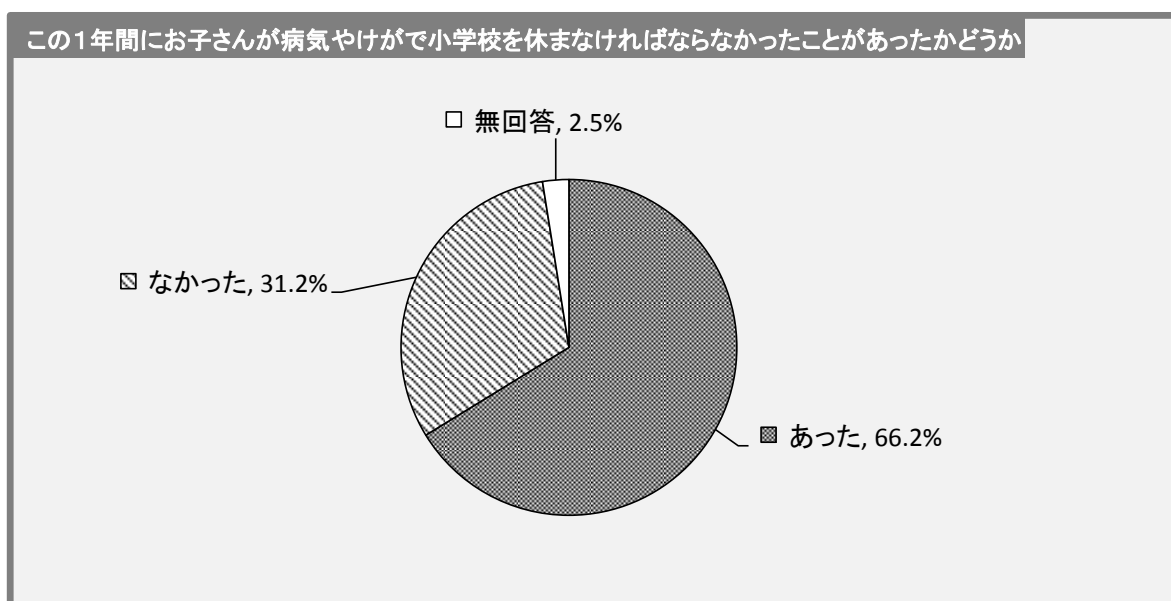


5. 病気の際の対応について

問 21 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかったことはありますか。

お子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかったことが「あった」方は66.2%、「なかった」方は31.2%となっています。

図 2-33 病気やけがで小学校を休んだ経験（単数回答 n=1,905）

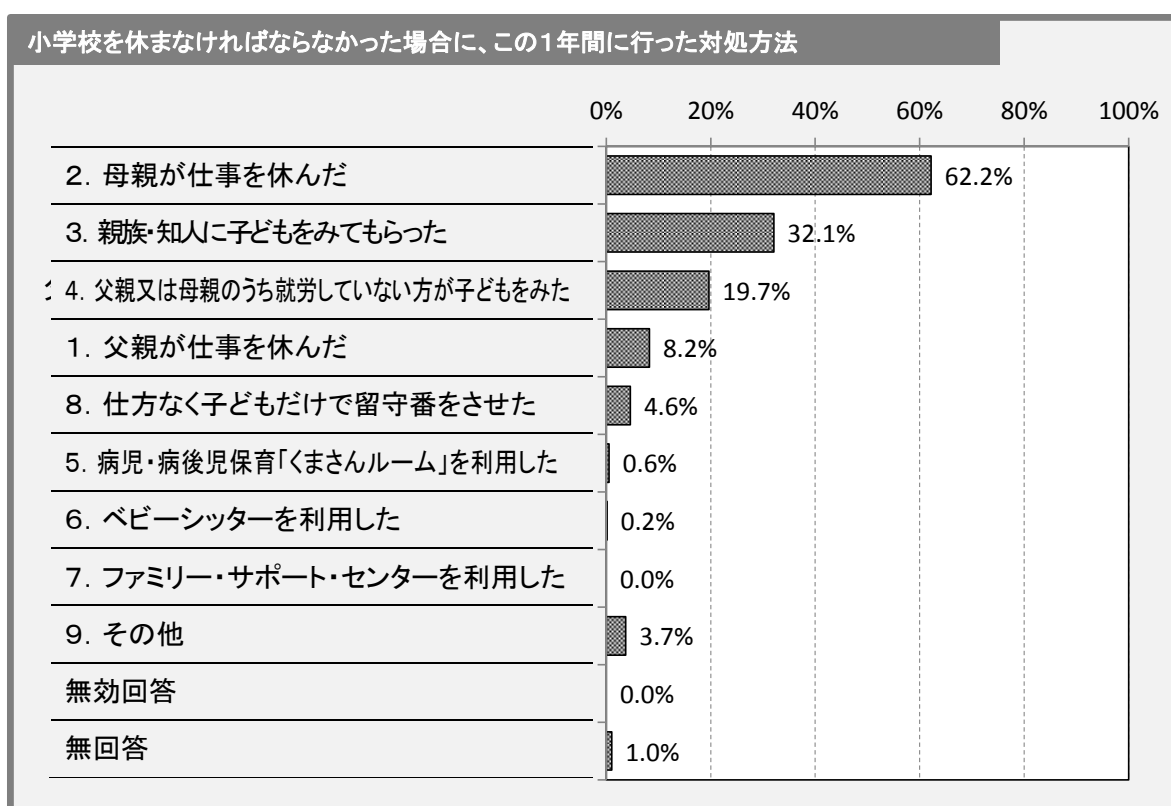


問 21-① お子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかった場合に、この1年間にいった対処方法は何か。(問 21 で「1. あった」に○をつけた方)

お子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかった場合の対処方法は、「母親が仕事を休んだ」が62.2%で最も多く、次いで、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」(32.1%)、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」(19.7%)と続いています。

対処法別の日数は、「病児・病後児保育「くまさんルーム」を利用した」平均日数が3.7日、「母親が仕事を休んだ」が3.4日、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が3.2日となっています。

図 2-34 小学校を休まなければならなかった場合の対処方法 (複数回答・いくつでも n=1,262)



【対処法別平均日数】

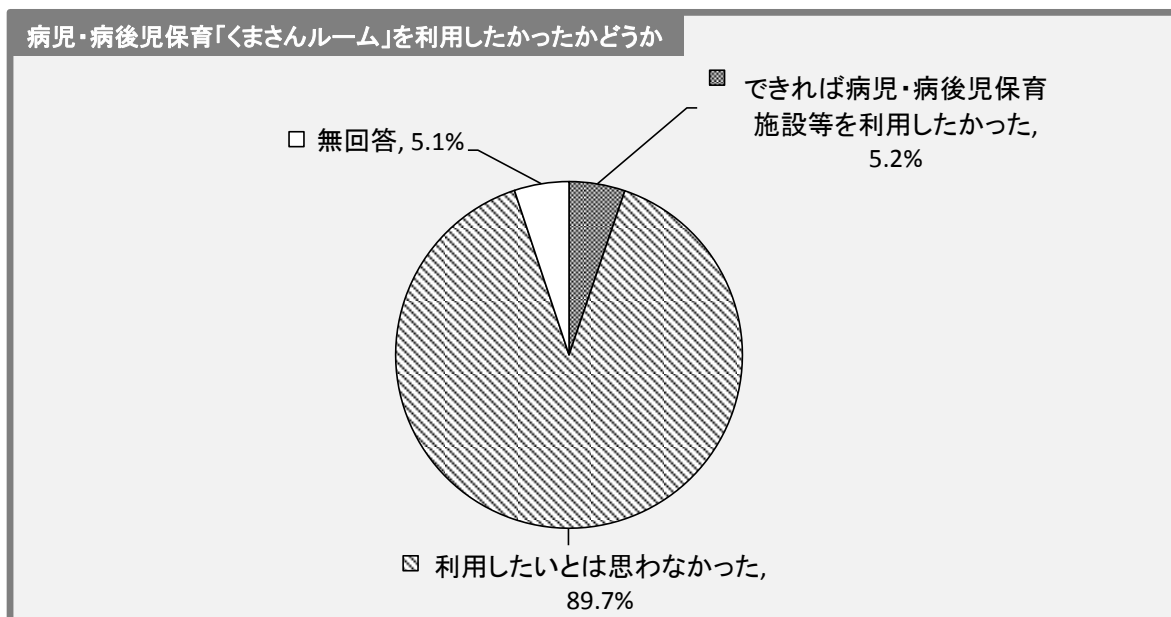
対処方法	数値回答者数	合計日数	平均日数
2. 母親が仕事を休んだ	659	2,212	3.4
3. 親族・知人に子どもをみてもらった	349	853	2.4
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	210	674	3.2
1. 父親が仕事を休んだ	95	200	2.1
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	52	109	2.1
5. 病児・病後児保育「くまさんルーム」を利用した	7	26	3.7
6. ベビーシッターを利用した	2	2	1.0
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	—	—	—
9. その他	29	86	3.0

問 21-② その際、病児・病後児保育「くまさんルーム」を利用したかったですか。(問 21-①で「1. 父親が仕事を休んだ」「2. 母親が仕事を休んだ」いずれかに○をつけた方)

仕事を休んだ際に「できれば病児・病後時保育施設等を利用したかった」方は 5.2%となっており、「利用したいとは思わなかった」方が 89.7%を占めています。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」平均日数は、4.0日となっています。

図 2-35 病児・病後児保育「くまさんルーム」を利用したかったかどうか (単数回答 n=804)



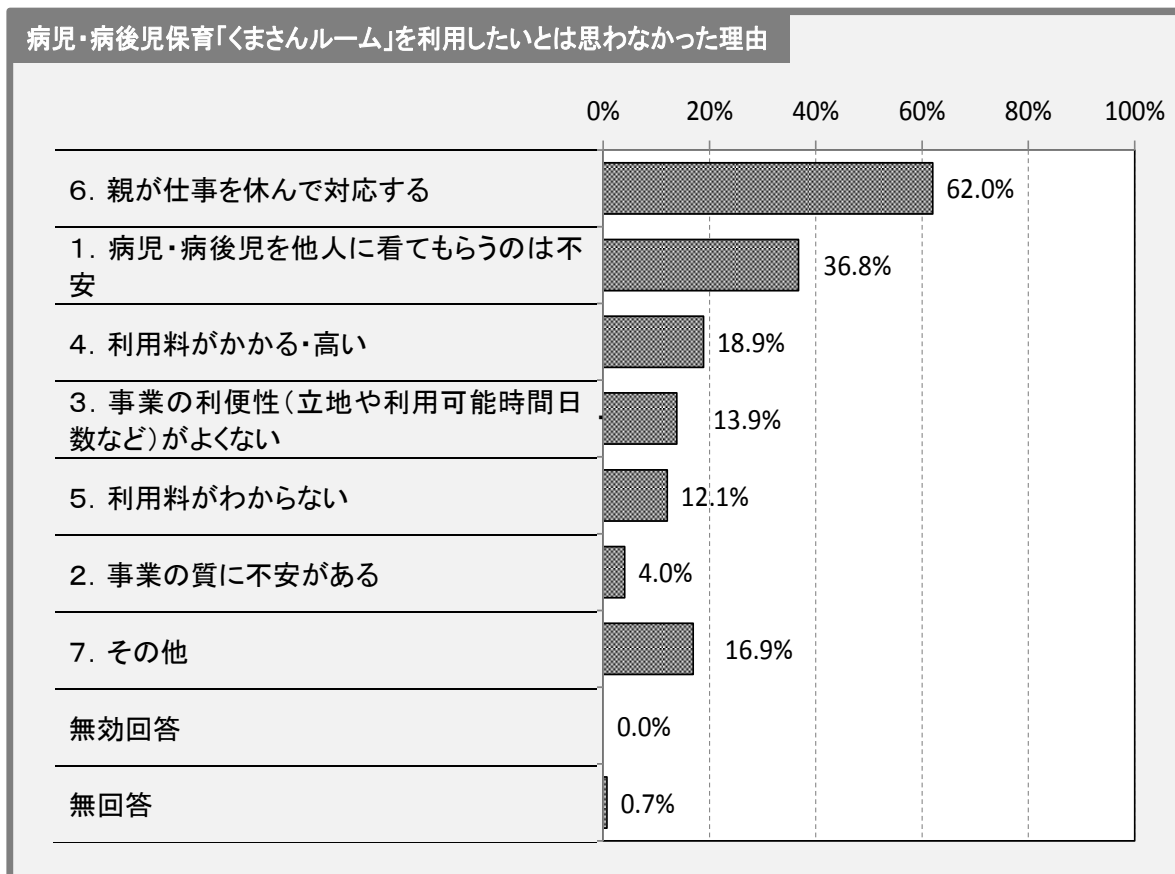
【病児・病後児保育施設等を利用したい平均日数】

	数値回答者数	合計日数	平均日数
できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	38	150	4.0

問 21-③ そう思われる理由は何ですか。(問 21-②で「2. 利用したいとは思わなかった」に○をつけた方)

病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わなかった理由は、「親が仕事を休んで対応する」が62.0%で最も多く、次いで、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(36.8%)、「利用料がかかる・高い」(18.9%)と続いています。

図 2-36 病児・病後児保育「くまさんルーム」を利用したくなかった理由(複数回答・いくつでもn=721)



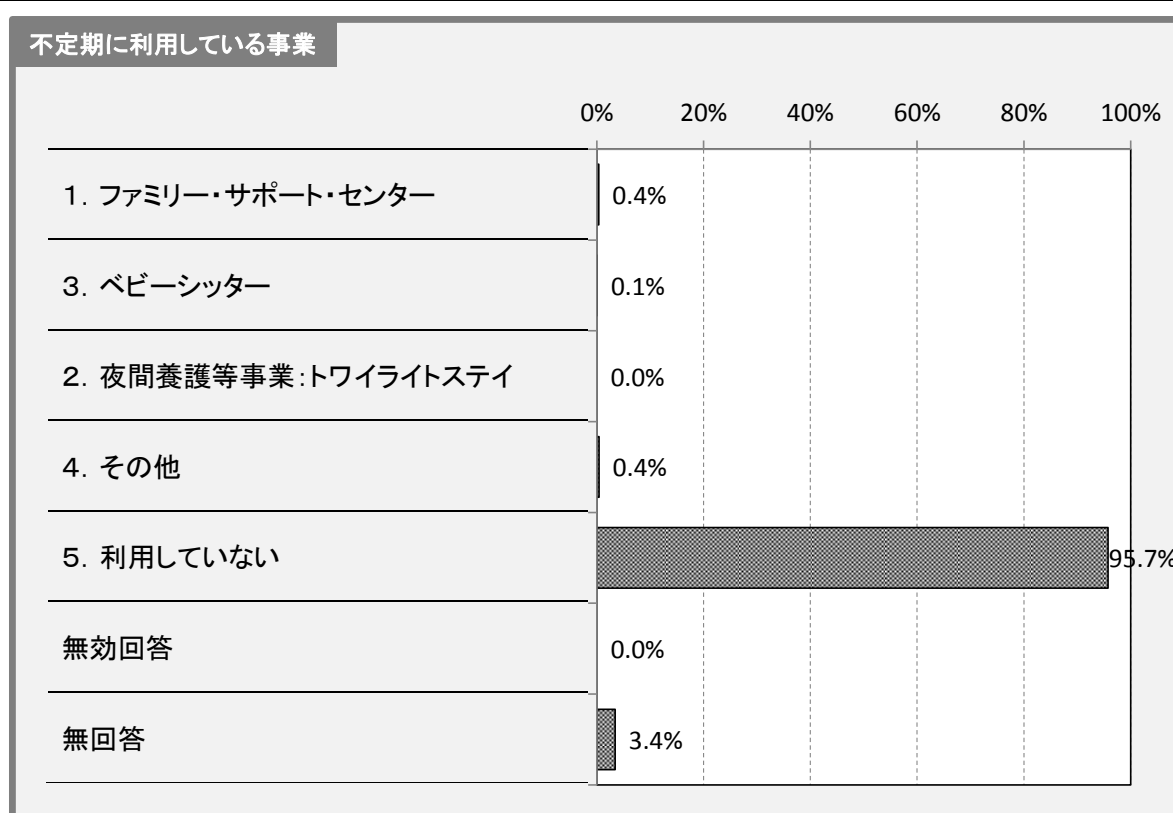
6. 宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 22 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、不定期で利用している事業はありますか。

不定期で利用している事業は、「ファミリー・サポート・センター」が0.4%（7人）、「ベビーシッター」が0.1%（1人）と少なく、「利用していない」が95.7%を占めています。

利用している事業の平均日数は、「ベビーシッター」が48.0日で最も多く、次いで、「ファミリー・サポート・センター」が20.7日となっています。

図 2-37 不定期で利用している事業（複数回答・いくつでも n=1,905）



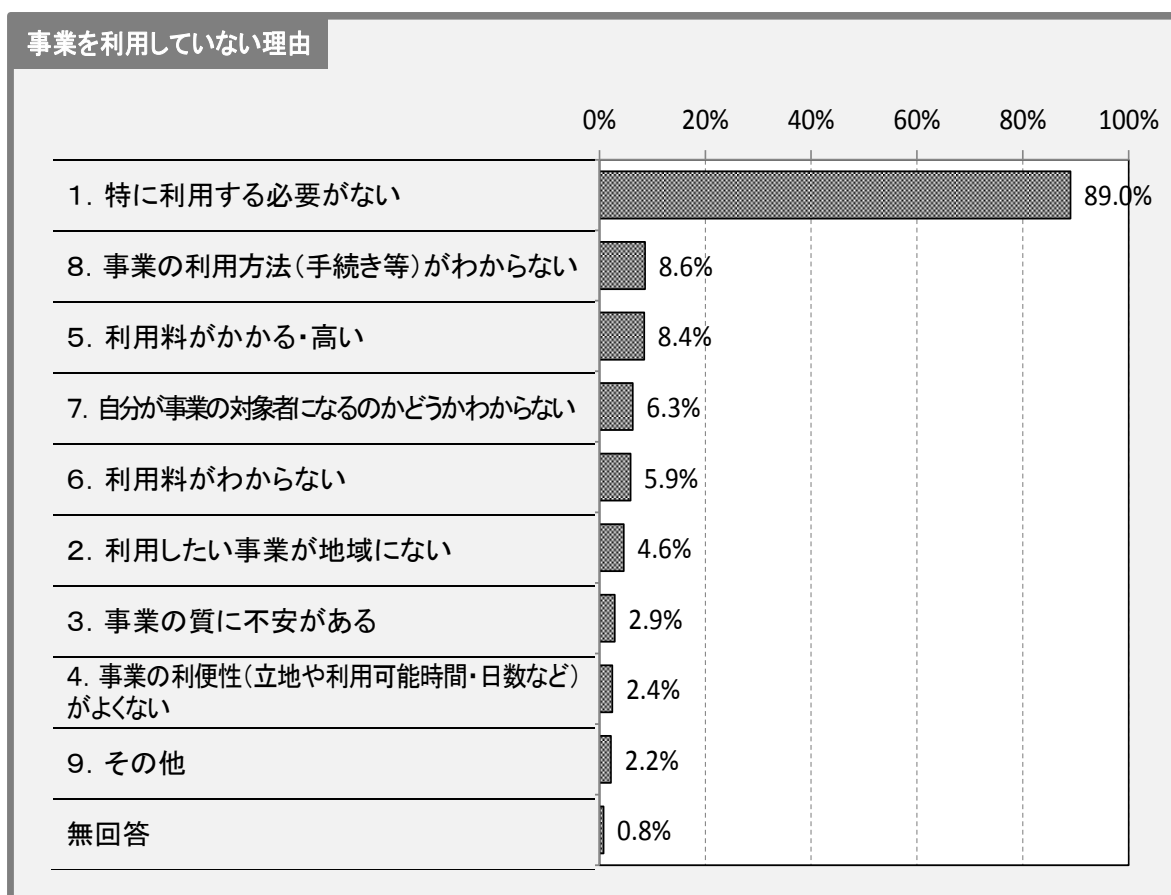
【不定期に利用している事業の利用平均日数】

	数値回答者数	合計日数	平均日数
1. ファミリー・サポート・センター	7	145	20.7
2. 夜間養護等事業:トワイライトステイ	—	—	—
3. ベビーシッター	1	48	48.0
4. その他	2	100	50.0

問 22-① 現在利用していない理由は何ですか。(問 22 で「5. 利用していない」に○をつけた方)

不定期で教育・保育事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が 89.0%で最も多くなっています。一方、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(8.6%)や、「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」(6.3%)、「利用料がわからない」(5.9%)などは、情報不足によって利用していないと思われます。また、「利用料がかかる・高い」(8.4%)や「利用したい事業が地域にない」(4.6%)、「事業の質に不安がある」(2.9%)、「事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない」(2.4%)などは、内容や条件等によって利用していないと考えられます。

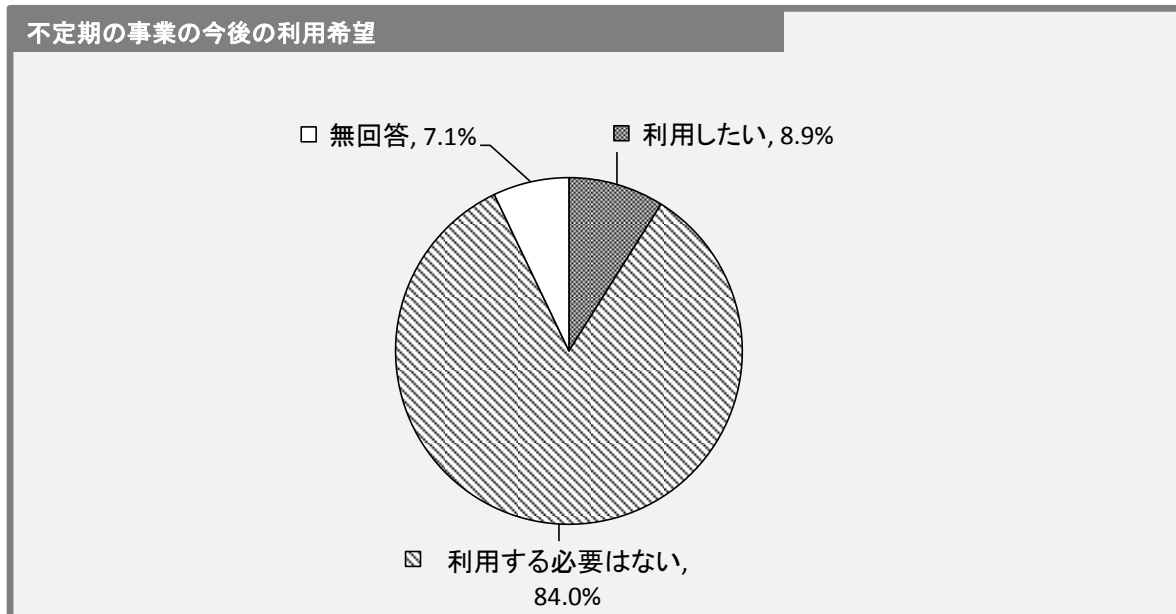
図 2-38 不定期で事業を利用していない理由(複数回答・いくつでも n=1,824)



問 23 宛名のお子さんについて、問 22 のような事業を利用したいと思いますか。

不定期で今後事業を「利用したい」方は 8.9%、「利用する必要はない」方は 84.0%となっています。

図 2-39 不定期の事業の利用意向（単数回答 n=1,905）

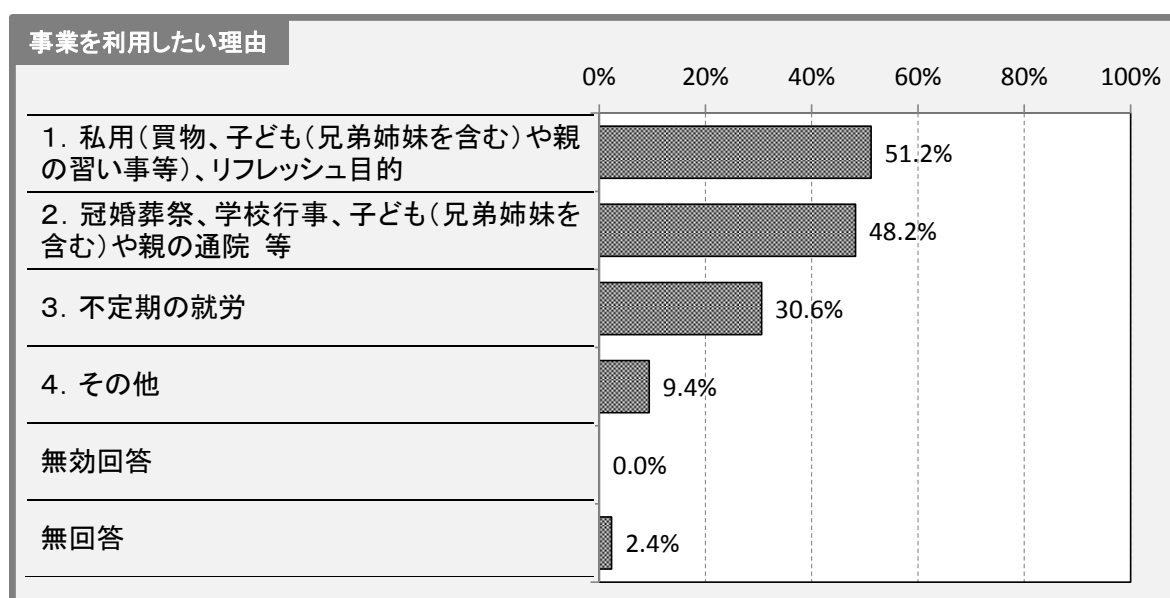


問 23-① 事業を利用する場合、それぞれ年間何日くらい利用する必要があると思いますか。(問 23 で「1. 利用したい」に○をつけた方)

不定期で事業を利用する場合、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」で事業を利用したい方が 51.2%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」で事業を利用したい方は 48.2%、「不定期の就労」で事業を利用したい方は 30.6%となっています。

事業利用の目的別平均日数は、「その他」が 22.0 日で最も多く、「不定期の就労」が 12.7 日、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 8.4 日、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が 5.4 日となっています。

図 2-40 事業を利用する目的と希望日数（複数回答・いくつでも n=170）



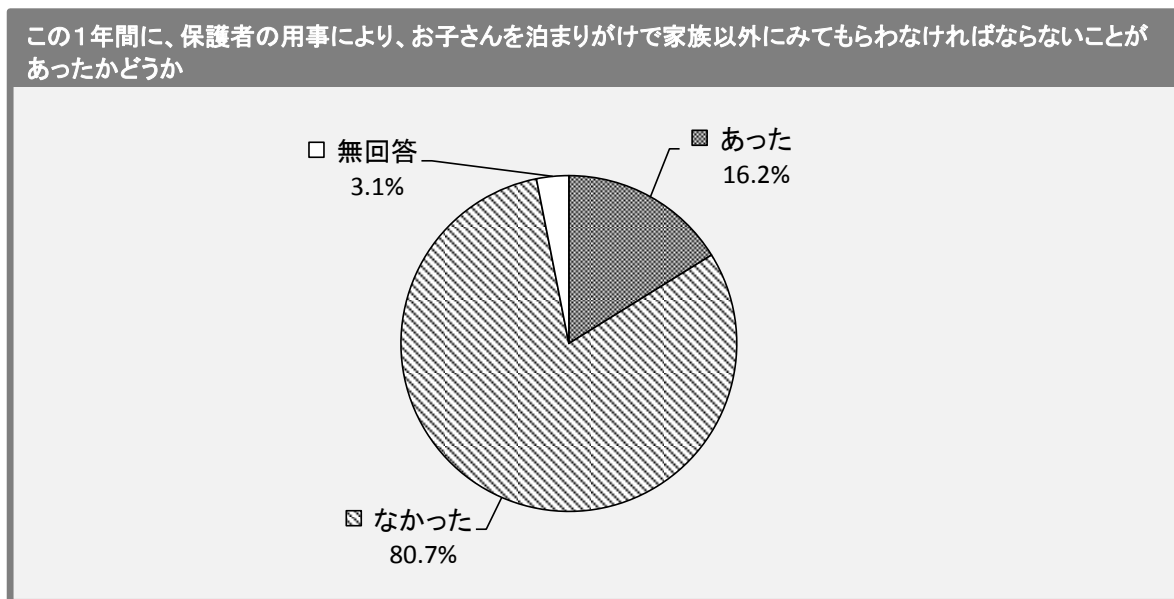
【目的別利用希望平均日数】

	数値回答者数	合計日数	平均日数
1. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	75	633	8.4
2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	62	332	5.4
3. 不定期の就労	35	446	12.7
4. その他	12	264	22

問 24 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。

この1年間に、保護者の用事でお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことが「あった」方は16.2%、「なかった」方は80.7%となっています。

図 2 - 41 保護者の用事でお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらった経験（単数回答 n=1,905）

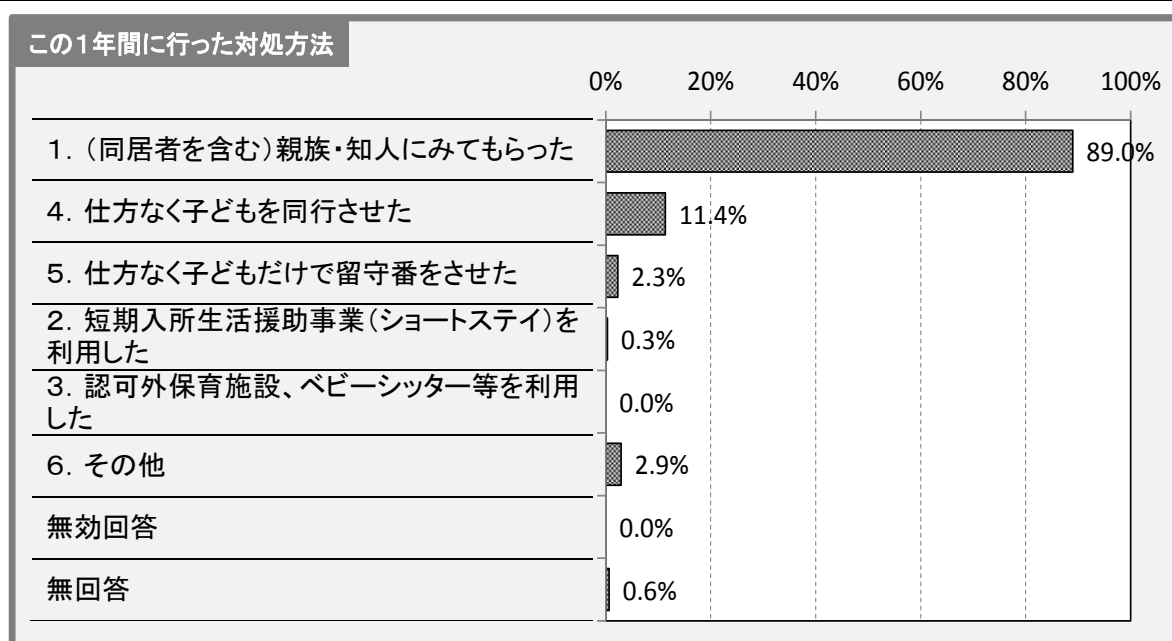


問 24-① この1年間に行った対処方法は何ですか。(問 30 で「1. あった」に○をつけた方)

この1年間に行った対処方法は、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が 89.0%で最も多くなっており、「仕方なく子どもを同行させた」が 11.4%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が 2.3%なっています。また、「短期入所生活援助事業(ショートステイ)」の利用者はありませんでした。

対処方法別の平均日数は、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が 3.1 日、「仕方なく子どもを同行させた」が 2.6 日、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が 1.9 日、「その他」が 1.8 となっています。

図 2-42 この1年間に行った対処方法(複数回答・いくつでも n=308)



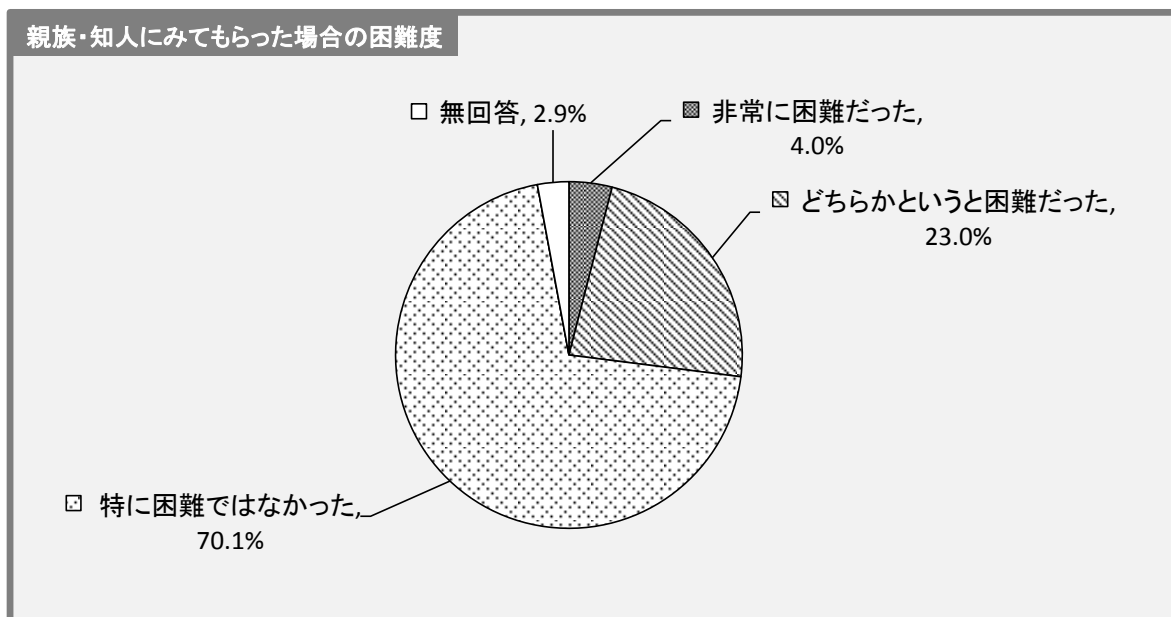
【対処法別平均日数】

	数値回答者数	合計日数	平均日数
1. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	208	637	3.1
2. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	—	—	—
3. 2以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	—	—	—
4. 仕方なく子どもを同行させた	24	62	2.6
5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	7	13	1.9
6. その他	5	9	1.8

問 24—② その場合の困難度はどの程度でしたか。(問 24—①で「1. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方)

「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」場合の困難度は、「特に困難ではなかった」が70.1%を占めており、「どちらかというと困難だった」は23.0%、「非常に困難だった」は4.0%となっています。

図 2-43 (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった場合の困難度 (単数回答 n=274)



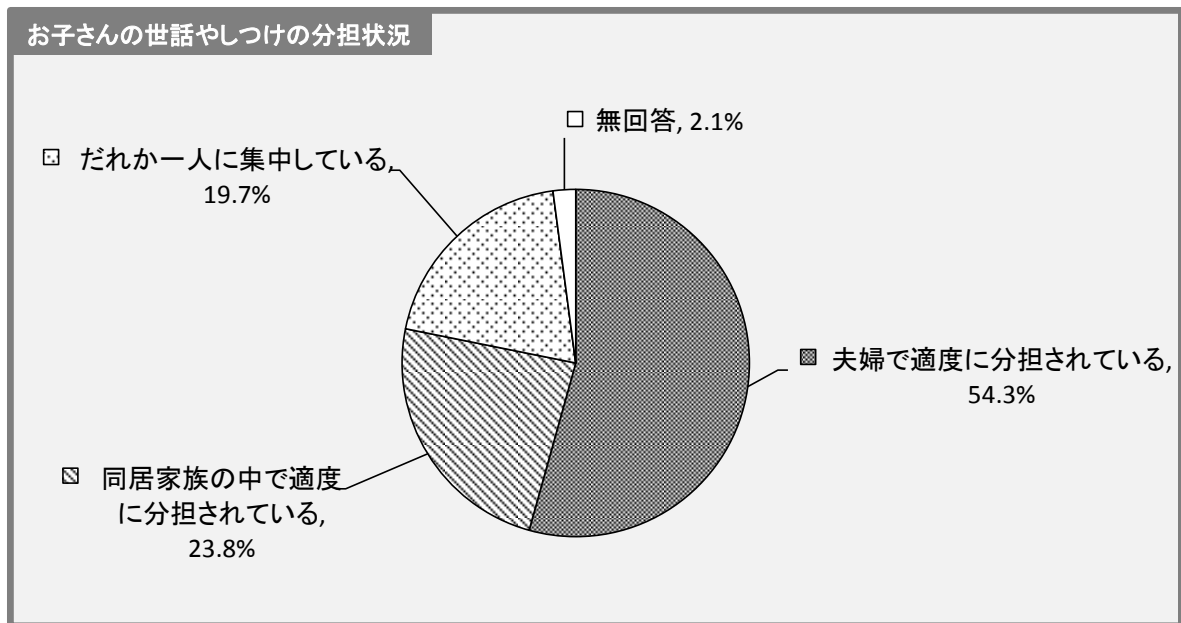
7. 子育て全般について

問 25 お子さんの世話やしつけは、分担されていますか。

子どもの世話やしつけの分担状況は、「夫婦で適度に分担されている」が過半数を占めており、「同居家族の中で適度に分担されている」が 23.8%で続いています。

一方、「だれか一人に集中している」も 19.7%あります。

図 2-44 子どもの世話やしつけの分担状況（単数回答 n=1,905）

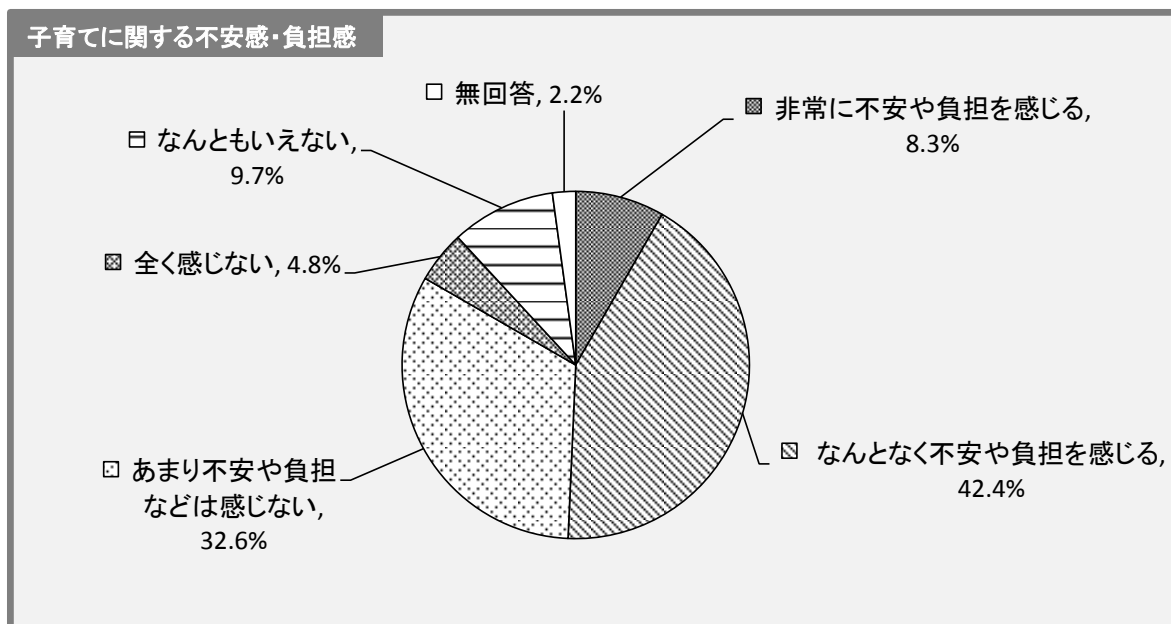


問 26 子育てに関して、不安感や負担感などを感じることはありますか。

子育てに関して「非常に不安や負担を感じる」方は 8.3%、「なんとなく不安や負担を感じる」方は 42.4%と、合わせて 50.7%の方が不安や負担を感じています。

一方、「あまり不安や負担などは感じない」方は 32.6%、「全く感じない」方は 4.8%となっています。

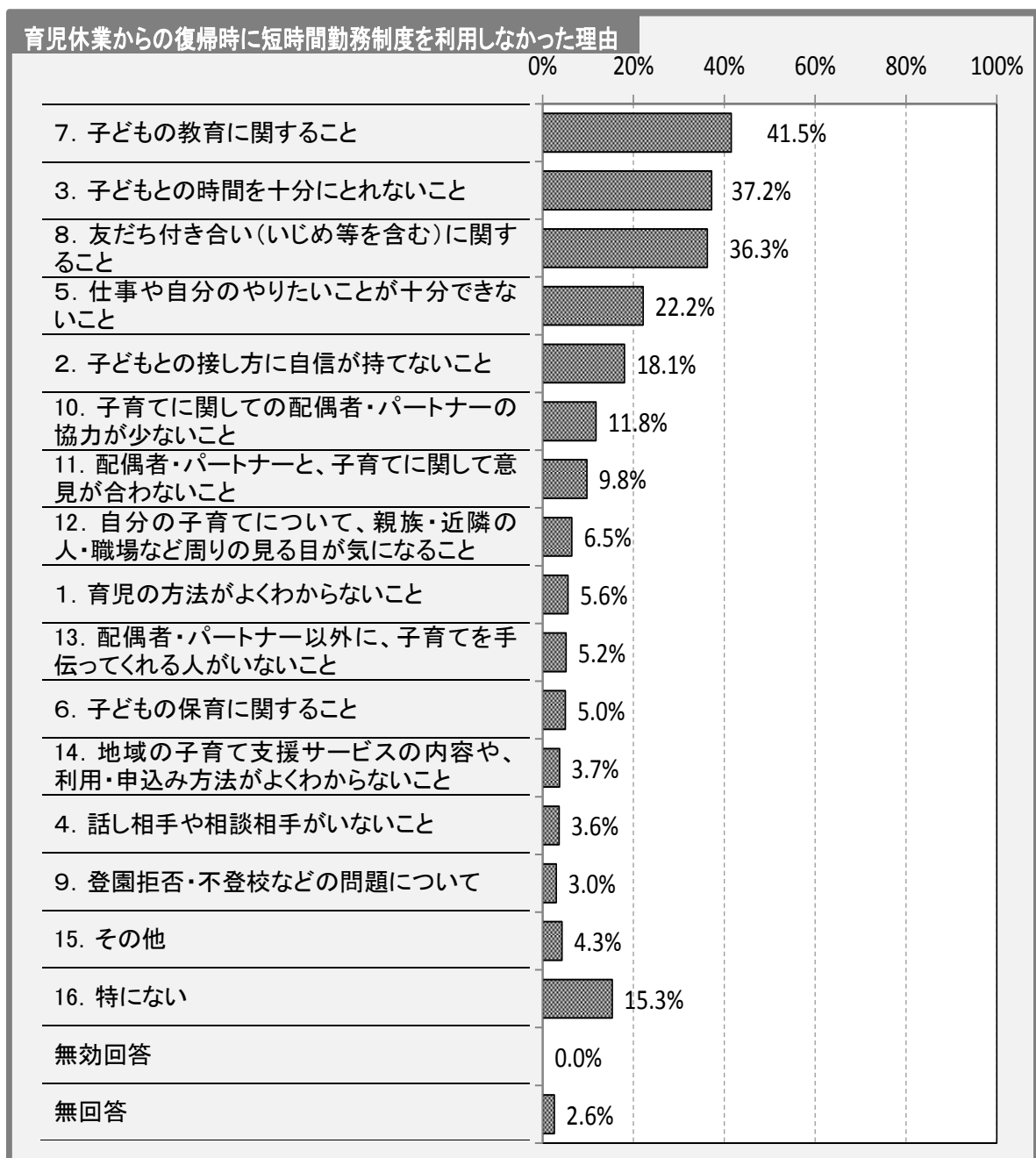
図 2-45 子育てに関する不安感、負担感（単数回答 n=1,905）



問 27 子育てに関して、日常悩んでいること、不安に思うこと、また気になることはどのようなことですか。

子育てに関して、日常悩んでいることや不安に思うこと、気になることは、「子どもの教育に関すること」が41.5%で最も多く、次いで、「子どもとの時間を十分にとれないこと」(37.2%)、「友だち付き合い(いじめ等を含む)に関すること」(36.3%)が続いています。
また、「話し相手や相談相手がないこと」は3.6%あります。

図 2-46 子育てに関して悩んでいること、不安に思うこと (複数回答・いくつでも n=1,905)

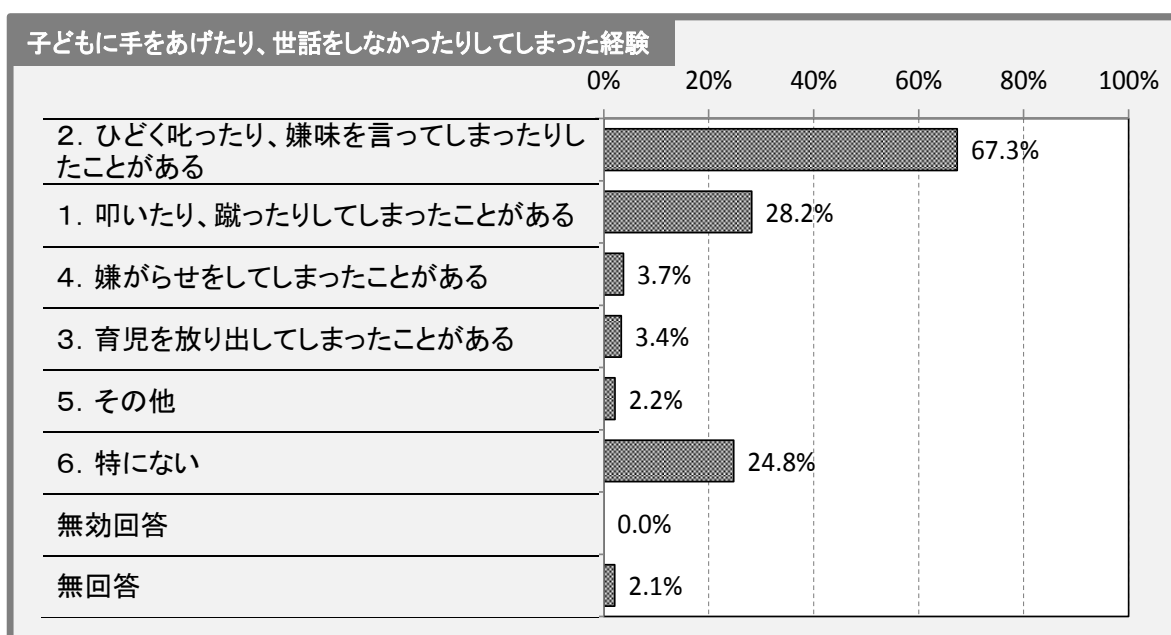


問 28 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまつた経験はありますか。

子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりした経験は、「ひどく叱つたり、嫌味を言つてしまつたりしたことがある」が67.3%で最も多く、次いで、「叩いたり、蹴つたりしてしまつたことがある」が28.2%で続いています。

「特にない」は24.8%となっています。

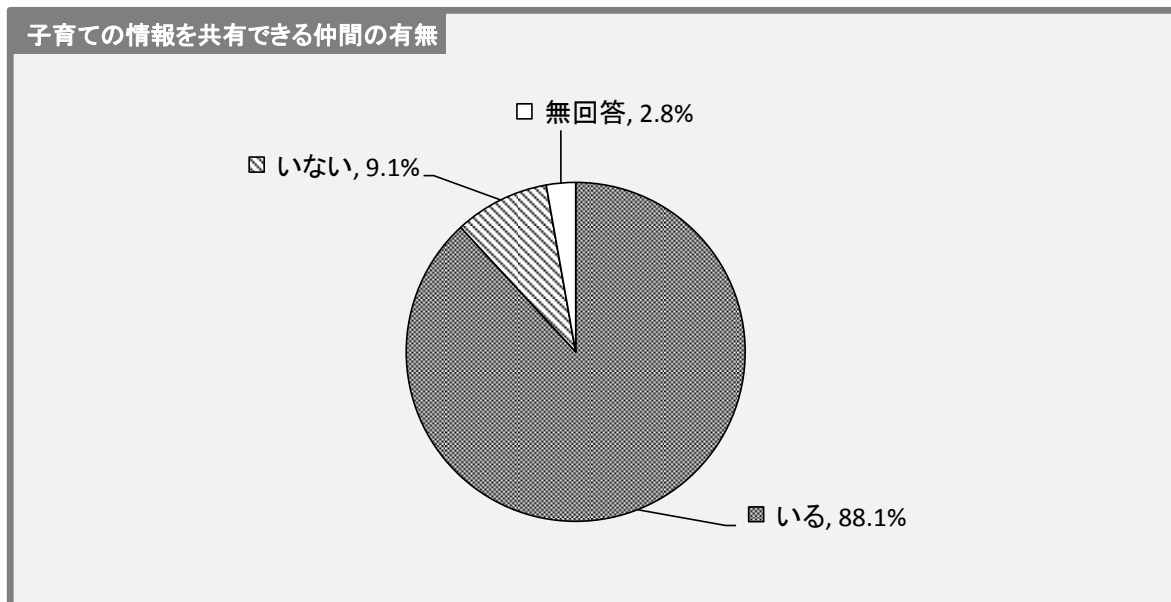
図 2-47 子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりした経験（複数回答・いくつでも n=1,905）



問 29 子育ての情報などを共有できる仲間はいますか。

子育ての情報などを共有できる仲間が「いる」方は 88.1%、「いない」方は 9.1%となっています。

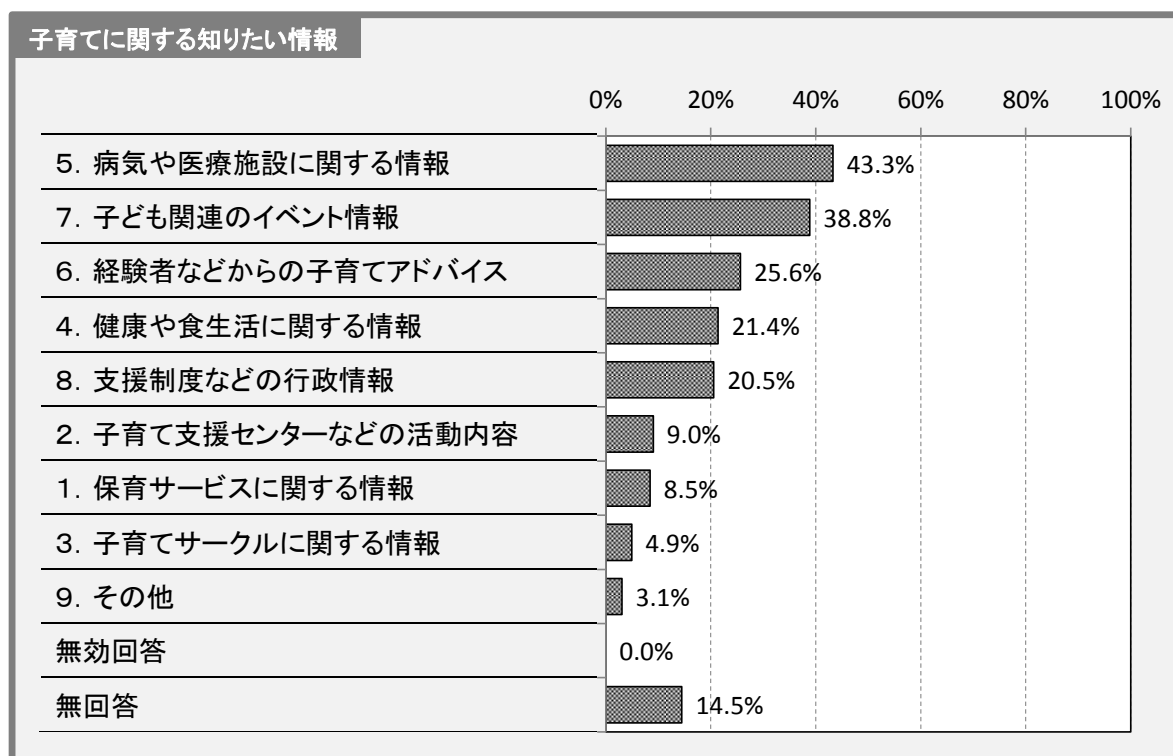
図 2-48 子育ての情報共有できる仲間の有無 (単数回答 n=1,905)



問 30 子育てに関する情報で、どのようなことを知りたいですか。

子育てに関する情報で知りたいことは、「病気や医療施設に関する情報」が 43.3%で最も多く、次いで、「子ども関連のイベント情報」(38.8%)、「経験者などからの子育てアドバイス」(25.6%)、「健康や食生活に関する情報」(21.4%)、「支援制度などの行政情報」(20.5%)などが続いています。

図 2-49 子育てに関して知りたい情報（複数回答 n=1,905）



問 31 お住まいの地域は、子育てがしやすいと思いますか。

住んでいる地域について、「とても子育てしやすい」(11.0%)と「どちらかといえば子育てしやすい」(65.9%)を合わせた『子育てしやすい』と感じている方は76.9%に上っています。

一方、「どちらかといえば子育てしづらい」(16.7%)と「とても子育てしづらい」(3.0%)を合わせた『子育てしづらい』と感じている方は19.7%となっています。

図 2-50 子育てのしやすさ (単数回答 n=1,905)

